

みどりの基本計画 基本施策の評価（令和5年度実績）

基本方針1 みどりを守り育てる 受け継がれてきたみどりの保全や育成 78%

1. まとまりのあるみどりの保全や育成	16/20点	80%	(昨年度評価)	51/65点
1. 公園・緑地のみどりの保全や育成		A	(A)	(合計/満点)
2. 歴史や文化を伝えるみどりの保全や育成		B	(B)	
3. 風致保安林の保全や育成（森林整備計画に基づく森林の保全や育成）		A	(A)	
4. 民有地の樹林・樹木の保全に対する支援		B	(B)	
2. 生物多様性の保全	13/15点	87%		
5. エコロジカル・ネットワークの形成		B	(B)	
6. ヒメボタルの生息地の保全		A	(B)	
7. 島熊山緑地の保全		A	(A)	
3. 連続性や水面のあるみどりの保全や育成	16/20点	80%		
8. 街路樹の保全や育成		A	(A)	
9. 河川のみどりの保全		B	(B)	
10. 水路のみどりの保全や育成		B	(B)	
11. ため池のみどりの保全		A	(A)	
4. 農地の保全	6/10点	60%		
12. 生産緑地地区制度の活用		B	(A)	
13. 市民農園の活用		B	(A)	

基本方針3 みどりを活かす みどりを活かした安全で快適なくらしの実現 87%

8. 魅力的で利便性の高い公園づくり	15/20点	75%	(昨年度評価)	78/90点
29. 長期未整備の都市計画公園・緑地の見直し		B	(B)	(合計/満点)
30. 安全で特色のある公園づくり		A	(B)	
31. 開発許可制度及び土地区画整理事業による身近な公園づくり		C	(C)	
32. 地域住民との連携による愛着が持てる公園づくり		A	(A)	
9. 防災・減災に資するみどりづくり	17/20点	85%		
33. 公園・緑地における防災機能の強化		A	(A)	
34. 庄内・豊南町地区における防災機能の強化		A	(A)	
35. 地域防災計画に基づく市街地の緑化		A	(A)	
36. 公共施設一体型公園づくり		C	(C)	
10. みどりの保全や緑化活動に対する支援	26/30点	87%		
37. みどりに関する活動を広げる交流の場の活用		A	(A)	
38. 花とみどりの相談所の活用		B	(B)	
39. 緑化リーダーの養成		A	(A)	
40. 生ごみ・剪定枝の堆肥化及び堆肥の活用		A	(A)	
41. 緑化樹木見本園及び記念樹の森の活用		A	(A)	
42. みどりに関する活動発表の場や表彰制度の活用		B	(B)	
11. みどりの普及啓発	20/20点	100%		
43. みどりに関するイベントの開催		A	(A)	
44. みどりに関する情報発信		A	(A)	
45. 自然体験及び野外活動の場の活用		A	(A)	
46. 緑化事業基金の活用		A	(A)	

基本方針2 みどりをつくる 都市のみどりや地域の身近なみどりの創出 80%

5. 公有地の緑化	14/20点	70%	(昨年度評価)	60/75点
14. 駅前や道路における特色のある緑化		A	(B)	(合計/満点)
15. 多様な手法による公共施設の緑化		B	(A)	
16. 市民の交流拠点となるポケットパークの緑化		B	(B)	
17. 教育施設や保育施設における緑化		B	(B)	
6. 民有地の緑化	18/25点	72%		
18. 環境配慮指針に基づく緑化		A	(A)	
19. 住宅地における緑化		A	(A)	
20. 商業地における緑化		B	(B)	
21. 工業地における緑化		B	(A)	
22. 道路沿線における緑化		C	(C)	
7. 景観を形成するみどりづくり	28/30点	93%		
23. 風致地区におけるみどりと調和した都市景観づくり		A	(A)	
24. 良好なみどりの景観を形成する制度を活用した地域づくり		A	(A)	
25. 花とみどりの名所づくり		A	(B)	
26. みどりを見渡す眺望点づくり		A	(A)	
27. 草花による美しいまちなみづくり		A	(B)	
28. 屋上や壁面を活用したみどりづくり		B	(A)	

緑化重点地区（南部地域） 78%

	31/40点	78%	(昨年度評価)	31/40点
みどりの拠点		A	(A)	(合計/満点)
みどりの軸		B	(B)	
公園・緑地		A	(A)	
街路樹・緑道		A	(A)	
学校		B	(A)	
駅前		B	(B)	
住宅地・商業地・工業地など		A	(A)	
みどりの風促進区域		C	(C)	

A=5点、B= 3 点、C= 2 点、D= 1 点とし、得点/満点 を表しています。
※太字は、重点施策です。※（ ）は、昨年度評価です。

みどりの基本計画 基本施策の評価（令和5年度実績）

基本方針1 みどりを守り育てる 受け継がれてきたみどりの保全や育成

まとまりのあるみどりの保全や育成については、公園・緑地の日常の除草や剪定等を適切に実施し、樹木の簡易点検を行い危険木について伐採等を行いました。また保護樹等は、助成制度を設けていますが、所有者からの申請に基づき保護樹の解除を行ったため、指定本数が減少しました。春日神社風致保安林では、倒木や土砂崩れの対策として法面の改修工事を実施しました。今後もみどりの保全に向け、適正な維持管理を実施するとともに、市民との協働により計画的に樹木の植栽や草花緑化に努める必要があります。

生物多様性の保全については、春日町のヒメボタル特別緑地保全地区において、市民との協働による竹間伐などの維持管理を行いました。同地区内の土地2筆を特別会計により先行取得を行うなど、生息環境の保全を行っています。一方で、ヒメボタルの発光数が減少し、協働する市民団体の高齢化等により、ヒメボタル発光数調査が困難になっています。島熊山緑地管理活動の参加者数は、広報誌での自然観察会の周知により増加していますが、活動を広げるためには、広報の工夫が重要です。

連続性や水面のあるみどりの保全や育成については、緑陰やみどりの軸の形成のために欠かせない街路樹の多くが植栽後数十年が経過し、老木や樹勢の劣化など様々な問題が生じております。その中で街路樹の保全、育成をしていくためにも、不適切な剪定や植栽などが発生しないよう計画的な維持管理を行う必要があります。地域住民が公園、緑地などの維持管理に参加する「自主管理協定制度的」については、多くの方に活動をしていただいておりますが、団体数は減少傾向にあります。高齢化により活動の継続が難しくなっており、新たな担い手の人材発掘と育成が必要です。

農地の保全については、全域市街化区域のため、農地面積と共に生産緑地の面積も減少傾向にあり、制度に関する情報を広く周知していく必要があります。また、市民農園箇所数は微減し、開設者の高齢化が進んで相続発生時に閉園する農園が増えており、区画数確保が課題です。

基本方針3 みどりを活かす みどりを活かした安全で快適なくらしの実現

魅力的で利便性の高い公園づくりについては、長い間整備されていなかった都市計画公園や緑地の必要性や実現可能性について検討を進めるほか、老朽化した施設の更新やバリアフリー化を行いました。また、地域の意見を取り入れた市民参画型公園の再整備を行いました。開発行為区域の新たな公園や緑地の設置については、民間事業者の開発がなかったため協議はありませんでした。アダプトシステム協定の締結件数は横ばい状態となっており、地域住民との連携を通じて魅力的な公園づくりを進めていくためには広い世代への周知が必要です。

防災対策については、耐震性貯水槽を設置するほか、防災機能の強化のため、街路樹の植樹や植え替え、危険木の撤去を進めました。再植栽可能な箇所については、交通の安全管理を考慮した上で低木の捕植を行うなど適正な整備が進められています。

みどりの保全や緑化活動に対する支援については、豊中みどりの交流会の活動や緑化リーダー養成講座の参加者は増加しましたが、花とみどりの講習会の参加者数や相談件数が減少しているため、より幅広い世代の参加者を確保するため、講座内容の見直しが必要です。一方、都市デザイン賞・まちなみ市民賞など、一部の表彰が実施年度ではなかったため、各種表彰制度の受賞件数は、昨年度より減少しています。

みどりの普及啓発については、「ふれあい緑地フェスティバル」などみどりに関するイベントの参加者数が概ね増加しました。自然体験や野外活動も、外出制限の緩和により利用者数が増加してコロナ禍前の水準となっています。また、ホームページなどでの情報発信も増えていますが、今後はSNSなど、より幅広い世代に向けた様々な手法を検討していく必要があります。

基本方針2 みどりをつくる 都市のみどりや地域の身近なみどりの創出

公有地の緑化については、適正なフラワーポットの再配置について検討し、駅前や道路での花壇面積やフラワーポットの設置数は減少しましたが、適切な配置や育成する花苗の見直しを行い、質の面で向上しました。また、公共の教育施設や保育施設では、学校再編による統廃合に伴い、学校農園や芝生化面積が減少傾向にありますが、引き続きみどりのカーテンづくりや校庭・園庭のオープンスペースなどを活用したビオトープの整備等を進める必要があります。

民有地の緑化については、開発の規模により左右されるため、開発による緑化面積は減少しています。住宅地に対しては、緑化用樹木の配布等の緑化助成を行いました。また、年度によって左右される傾向にあります。今後、民有地において活用しやすい緑化支援制度の見直しや商業地や工業地への広報が必要です。

景観を形成するみどりづくりについては、継続されており、花しょうぶ園については、長期による育成管理委託を開始しました。また、市内にある花とみどりの名所を多くの人に知っていただけるよう、一昨年度より実施した「みんなでつくる花とみどりの名所マップ」の効果的な周知の工夫が必要です。草花による美しいまちなみづくりについては、花いっぱい運動への支援を行い活動団体数が増加しましたが、活動者の高齢化などによる縮小が懸念されることから、引き続き活動の支援や人材発掘、育成が必要です。

緑化重点地区（南部地域）

みどりの拠点については、公園・緑地の日常の除草や剪定等を行うなど、適切な維持管理に努め、指標も昨年度から大きな変化はありませんでした。みどりの軸に関しても、良好な景観が保てており、良質な空間が確保されています。

公園・緑地については、樹木の剪定や除草等の維持管理を行い、指標も昨年度から変化ありませんでした。「自主管理協定制度的」の団体数は減少傾向にあります。高齢化により活動の継続が難しくなっており、新たな担い手の人材発掘と育成が必要です。

街路樹・緑道については、市道の街路樹本数が老木や樹勢の劣化など様々な問題が生じており、減少傾向にあります。引き続き低木の捕植を行うことや不適切な剪定や植栽などが発生しないよう維持管理を行っていく必要があります。

学校については、緑のカーテンづくりの支援を行いました。今後学校再編とも連動し、みどりの確保や緑化の推進に努める必要があります。

駅前については、駅前を含む道路沿いなどの適正なフラワーポットの再配置について検討し、フラワーポット全体の設置数は減少しましたが、南部地域の中学生在が通う学校の前や通学路などに再配置を行いました。多くの市民が集まる駅前などにおいて、魅力的な景観づくりに向けた、市民との協働による草花緑化の推進や、関係部局との連携が必要です。

住宅地・商業地・工業地などについては、緑化支援制度を実施していますが、南部地域からの申請が少ないため、積極的な広報を行う必要があります。

みどりの風促進区域については、対象となる176号沿いでの補助事業活用について、大阪府への情報提供や事業者への働きかけが必要です。

施策の進捗・効果検証シート

基本方針 1 受け継がれてきたみどりの保全や育成

基本施策 1 まとまりのあるみどりの保全や育成

A:すべての指標の増加(増加が困難なものは考慮) + すべての施策概要について取組実施
B:A、C、Dに該当しないもの
C:指標の減少あり(項目の半分以上) + 施策取組未実施のものが多(半分以上)
D:すべての指標の減少 + 施策取組全部未実施

指標の増減なしは、評価として「増加」とみなす。「0」は評価として「減少」とみなす。

計画の目標値に大きく関係する指標がある施策(イベントの参加者数)などは別途、判断

具体 施策	1. 公園・緑地のみどりの保全や育成											
施策 内容	施策概要	実施状況	モニター 指標	指標	単位	区分	令和4年度	令和5年度	増減	指標に対する 補足・留意事項	公園みどり推進課による検証	進捗評価
	千里中央公園やふれあい緑地など、公園・緑地のみどりを良好な状態に保つため、枯損木の撤去や枯れ枝の除去・剪定・草刈りなどの適正な維持管理を行うとともに、千里緑地や島熊山緑地の千里丘陵などの雑木林や竹林の健全な育成を推進するため、市民との協働により、森林病虫害の防除や竹間伐などの適正な維持管理を行います。 周辺環境や生育環境、景観、ライフサイクルコスト、生物多様性、みどりに対する愛着の形成などに配慮して、公園・緑地の整備や樹木などの植栽を行います。 公園・緑地のみどりの充実を図るため、利用状況なども踏まえて、市民との協働などにより、裸地部分の樹木の植栽や草花緑化に努めます。	継続		公園・緑地の開設箇所数(含服部緑地・猪名川公園)	箇所	(累計)	483	480	↓	児童遊園減少によるもの		A
		担当課		公園・緑地の開設面積(含服部緑地・猪名川公園)	m ²	(累計)	2,840,850	2,833,389	↓	児童遊園減少によるもの		今後の留意すべき点・改善点
				公園・緑地の整備箇所数	箇所	(単年)	0	0	—	大規模開発による帰属公園協議減少に伴うもの		全ての施策を実施し、低下している指標もあるが、適切な整備による変動のため、進捗評価をAとします。 今後、公園・緑地の面積などの指標は、既成市街地となっている本市では大幅な増加は見込めませんが、危険木の撤去後の裸地部分の樹木の植栽や草花緑化などに努めることでみどりの充実を図っていく必要があります。
		公園みどり推進課(維持管理係、整備改良係)		担当課検による	公園・緑地の整備面積	m ²	(単年)	0	0	—		
	担当課		令和5年度 の実施内容・評価				施策に対する課題					
				公園みどり推進課(維持管理係)	日常の除草や剪定等を適切に実施し、樹木の簡易点検を行い危険木について伐採等を行いました。				適正な維持管理のため、危険木の伐採等を行い裸地となった場所がありますが、こういった裸地についても、計画的に樹木の植栽や草花緑化に努める必要があります。			
具体 施策	2. 歴史や文化を伝えるみどりの保全や育成											
施策 内容	施策概要	実施状況	モニター 指標	指標	単位	区分	令和4年度	令和5年度	増減	指標に対する 補足・留意事項	公園みどり推進課による検証	進捗評価
	国指定史跡桜塚古墳群、市指定史跡原田城跡、府指定建造物の旧新田小学校校舎などの文化財の敷地のみどりについて、みどりの量の確保を意識しながら剪定などの適正な維持管理を推進します。 街道沿いのポケットパークなどにおいて、歴史や文化を伝えるみどりや石碑などを保全するとともに、緑陰を形成する樹木や草花による緑化に努めます。 地域の財産として社寺林などの樹林・樹木を保全するため、所有者の申し出などにより、保護樹や保護樹林、景観重要樹木への指定を推進します。	継続		保護樹指定件数	件	(累計)	72	69	↓			B
		担当課		保護樹指定本数	本	(累計)	133	128	↓			今後の留意すべき点・改善点
				保護樹林指定面積	m ²	(累計)	42,100	42,100	—	別途、生垣1件 40m指定有り		全ての施策を実施しているが、実績が低下している指標があるため、進捗評価をBとします。 文化財や街道沿いの石碑などは、ランドマークとなっていることが多く、引き続き景観に配慮した植栽管理を実施する必要があります。保護樹については、開発や管理困難等の理由から、減少傾向にあります。引き続き、所有者に対して、制度の趣旨の十分な理解・協力を求めながら、歴史的に受け継がれている大切な樹木の保護に努めていく必要があります。
		公園みどり推進課(緑化自然環境係、維持管理係、整備改良係)		指定文化財(史跡・名勝)の敷地面積	m ²	(累計)	38,132	38,132	—			
			景観重要樹木指定件数	件	(累計)	0	0	—				
				担当課	令和5年度 の実施内容・評価				施策に対する課題			
		社会教育課 都市計画課		公園みどり推進課(緑化自然環境係)	保護樹等の現地確認及び台帳整理のほか、所有者からの申請に基づき、保護樹の解除を行いました。				管理困難という理由から、保護樹指定件数は減少傾向にあります。			

具体 施策	3. 風致保安林の保全や育成（森林整備計画に基づく森林の保全や育成）												
施策 内容	施策概要	実施状況	モニター 指標	指標	単位	区分	令和4年度	令和5年度	増減	指標に対する 補足・留意事項	公園 みどり 推進課 による 検証	進捗評価	
	春日神社裏山にある風致保安林を計画的に保全するため、「豊中市森林整備計画」に基づき、森林病虫害の防除などの維持管理を推進します。 風致保安林内にある「宮山つつじ園」などのコバノミツバツツジが多くの花をつける明るい林とするため、市民との協働により、剪定や枝打ちなどの適正な維持管理を推進します。	継続		風致保安林指定面積	ha	（累計）	2	2	—			A	
		担当課		森林整備計画対象森林面積	ha	（累計）	2	2	—			今後の留意すべき点・改善点	
				宮山つつじ園育成管理面積	m ²	（累計）	2,600	2,600	—	毎年、つつじ園開園に伴い、継続していく必要があります。			
	公園みどり推進課 （緑化自然環境係）	担当課検に証 による	担当課	令和5年度 の実施内容・評価				施策に対する課題		全ての施策を実施し、指標も良好なため、進捗評価をAとします。 風致保安林の保全や災害対策について、森林所有者等と協働し、進めていく必要があります。			
			公園みどり推進課 （緑化自然環境係）	森林を保全し風致保安林機能を更に発揮させるための「宮山町1丁目地内風致保安林法面改修工事」を行いました。				災害対策や風致保安林の機能を更に発揮させるため、森林所有者との協働や森林環境譲与税を活用する必要があります。					
具体 施策	4. 民有地の樹林・樹木の保全に対する支援												
施策 内容	施策概要	実施状況	モニター 指標	指標	単位	区分	令和4年度	令和5年度	増減	指標に対する 補足・留意事項	公園 みどり 推進課 による 検証	進捗評価	
	住宅地などの貴重な樹林・樹木を保全するため、「保護樹等助成金交付制度」による支援を行うとともに、同制度の積極的な普及啓発に努めます。 森林病虫害のまん延防止を図るため、「松くい虫防除事業助成金等交付制度」などにより、樹林・樹木の健全な保全と育成を推進するとともに、同制度の積極的な普及啓発に努めます。	継続		保護樹指定件数	件	（累計）	72	69	↓			B	
		担当課		保護樹指定本数	本	（累計）	133	128	↓			今後の留意すべき点・改善点	
				松くい虫防除事業助成件数	件	（単年）	1	1	—				
		公園みどり推進課 （緑化自然環境係）		担当課検に証 による	松くい虫防除事業助成本数	本	（単年）	6	3	↓			全ての施策を実施しているが、実績が低下している指標があるため、進捗評価をBとします。 所有者の負担の軽減を図り、民有地の樹木を保全するために、「保護樹等助成金制度」や「松くい虫防除事業助成金等交付制度」を積極的に活用するよう引き続き促す必要があります。
					保護樹林指定面積	m ²	（累計）	42,100	42,100	—			
		公園みどり推進課 （緑化自然環境係）	担当課検に証 による	担当課	令和5年度 の実施内容・評価				施策に対する課題				
	公園みどり推進課 （緑化自然環境係）			所有者からの申請に基づき、保護樹の解除を行いました。 松くい虫防除を行った申請者に対して助成を行いました。				助成金が樹木保存や森林病虫害被害の蔓延防止の一助となつてはいるものの、樹木の維持管理にかかる所有者の負担は大きいです。					

基本施策2 生物多様性の保全

具体 施策	5. エコロジカル・ネットワークの形成											
施策 内容	施策概要	実施状況	モニター 指標	指標	単位	区分	令和4年度	令和5年度	増減	指標に対する 補足・留意事項	公園みどり推進課による検証	進捗評価
	千里緑地などの「中核地区」や「拠点地区」において、市民との協働により、生物多様性の保全に配慮した樹林地や草地、水辺などのみどりの維持管理を推進します。 「回廊地区」となる緑地や街路樹、河川・水路などのみどりを保全し、必要に応じて植栽を行うなど、みどりの連続性の形成に努めます。また、「緩衝地区」において、民有地の樹林地や住宅地の庭木、生産緑地地区などのみどりの消失を防ぐため、エコロジカル・ネットワークの形成に資する普及啓発に努めます。 春日町ヒメボタル特別緑地保全地区や春日神社風致保安林、大阪大学(待兼山)、刀根山病院、千里川をつなぐ新たなエコロジカル・ネットワークの形成のため、これらのみどりの維持管理を推進します。 市民との協働による市内の生き物調査を継続し、市内の自然環境の保全や公園・緑地の維持管理などに活用するとともに、在来種の保全を目的とする特定外来生物の対策に努めます。 生物多様性の認知度を向上させるため、生物多様性を身近に学ぶ場として、公園・緑地や学校、民間施設におけるビオトープの整備を推進するとともに、イベントの開催や広報などの多様な手法を用いた生物多様性の保全に関する普及啓発に努めます。	継続		身近な生き物調査における調査員数	人	(単年)	76	31	↓			B
		担当課		特定外来生物措置件数	件	(単年)	39	27	↓			今後の留意すべき点・改善点
				生物多様性に関する認知度	%	(単年)	26	26	—	令和3年度実施の調査		
		公園みどり推進課 (緑化自然環境係、維持管理係、整備改良係、企画調整係)		小・中学校及びこども園ビオトープ設置件数	件	(単年)	21	21	—	公立高校含む,5年毎の調査(次回、令和7年度実施)		全ての施策を実施しているが、実績が低下および不明な指標があるため、進捗評価をBとします。 エコロジカル・ネットワークの形成に向けて、みどりを育成・保全する主体(市民や事業者など)の参画を増やす必要があり、積極的な普及啓発が必要です。 生物多様性に関する認知度向上に向けて、引き続きビオトープの整備やイベントの開催を通して、普及啓発に取り組めます。
				小・中学校及びこども園ビオトープ設置面積	m ²	(単年)	4,240	4,240	—	公立高校含む,5年毎の調査(次回、令和7年度実施)		
				公共施設等ビオトープ設置件数	件	(単年)	5	5	—	5年毎の調査(次回、令和7年度実施)		
				公共施設等ビオトープ設置面積	m ²	(単年)	2,379	2,379	—	5年毎の調査(次回、令和7年度実施)		
				集合住宅等ビオトープ設置件数	件	(単年)	13	13	—	5年毎の調査(次回、令和7年度実施)		
				集合住宅等ビオトープ設置面積	m ²	(単年)	2,494	2,494	—	5年毎の調査(次回、令和7年度実施)		
		自然環境啓発イベント参加者数	人	(単年)	4,306	3,784	↓					
	担当課 検証による	担当課	令和5年度 の実施内容・評価						施策に対する課題			
		公園みどり推進課 (緑化自然環境係)	身近な生き物調査では、セミのぬけがら調査を行いました。						開発等により自然環境が減少していく中、生物多様性の保全に配慮したエコロジカルネットワークの形成が必要です。			
具体 施策	6. ヒメボタルの生息地の保全											
施策 内容	施策概要	実施状況	モニター 指標	指標	単位	区分	令和4年度	令和5年度	増減	指標に対する 補足・留意事項	公園みどり推進課による検証	進捗評価
	「春日町ヒメボタル特別緑地保全地区」とその周辺から形成されるヒメボタルの生息地を保全するため、市民との協働により、ヒメボタルの生息環境に配慮した竹間伐や草刈り、生息状況調査などの適正な維持管理を行います。 同地区の散策路を示す案内板や解説サインの設置、散策路の整備、同地区を活用したイベントの開催などにより、自然に親しむことができる場としての利用を推進します。	継続		特別緑地保全地区指定面積	ha	(累計)	1	1	—			A
		担当課		ヒメボタル発光数	匹	(単年)	809	602	↓	参考値 (R3調査終了)		今後の留意すべき点・改善点
			担当課による 検証	担当課	令和5年度 の実施内容・評価							
	公園みどり推進課 (緑化自然環境係、整備改良係)	公園みどり推進課 (緑化自然環境係)		春日町ヒメボタル特別緑地保全地区において、市民との協働による竹間伐などの維持管理を行いました。同地区内の土地2筆を特別会計により、先行取得しました。						環境の変化への適応が困難なヒメボタルと生息地の保全を続けるため、新たな担い手を確保していく必要があります。		
		都市計画課										

具体 施策	7. 島熊山緑地の保全											
施策 内容	施策概要	実施状況	モニタ ー 指標	指標	単位	区分	令和4年度	令和5年度	増減	指標に対する 補足・留意事項	公園 みどり 推進課 による 検証	進捗評価
	島熊山緑地の雑木林や竹林、緑地内の古池(千里センター池)などを良好な状態に保つため、市民との協働により、森林病虫害の防除や竹間伐などによる適正な維持管理を行います。 同緑地を活用して自然観察会などを開催し、自然環境の保全に対する意識の向上を図ります。	継続		島熊山緑地管理活動(自然観察会含む)参加者数	人	(単年)	344	461	↑			A
		担当課	担当 課 検証 による	担当課	令和5年度 の実施内容・評価		施策に対する課題		今後の留意すべき点・改善点			
		公園みどり 推進課 (緑化自然 環境係、 維持管理係)		公園みどり推進課 (緑化自然環境係)	市民との協働による竹間伐や森林病虫害の防除などの保全活動を実施しました。 島熊山緑地内の散策路の階段整備や案内看板の設置、入口フェンスの改修を行いました。	島熊山緑地を持続的に保全するためには、市民との協働による活動を広げることや新たな担い手の確保などが必要です。	施策を実施し、指標も良好なため、進捗評価をAとします。 島熊山緑地を持続的に保全するため、自然観察会などを通じた自然環境保全に対する意識啓発や、計画的な活動が必要です。					

基本施策3 連続性や水面のあるみどりの保全や育成

具体 施策	8. 街路樹の保全や育成														
施策 内容	施策概要		実施状況		モニター 指標	指標	単位	区分	令和4年度	令和5年度	増減	指標に対する 補足・留意事項	公園 みどり 推進課 による 検証	進捗評価	
	緑陰やみどりの軸の形成のため、みどりが豊かな街路樹の保全や育成を推進します。また、樹木の剪定や草刈りなどの適正な維持管理を行い、まちなみと調和した街路樹景観の形成を推進します。 植栽整備から一定の年数が経過した老木が増加していることから、定期的な点検を行うとともに、枯損木の撤去や枯れ枝を除去し、必要に応じて樹木の更新を行います。 周辺環境や生育環境、景観、ライフサイクルコスト、生物多様性、みどりに対する愛着の形成などに配慮して、街路樹の整備や樹木などの植栽を行います。 「回廊地区」の道路などを中心に、道路幅員や周辺環境なども踏まえて、遊休地などの街路樹整備やフラワーポットなどの設置が可能な箇所における緑化に努めます。 地域住民が緑道などの維持管理に参加する「自主管理協定制度」などにより、良好な緑道空間を形成するとともに、地元の自治会や事業者などの団体が行う清掃活動などを支援する「豊中市アダプトシステム」や「大阪府アドプト・ロードプログラム」により、街路樹のある道路や緑道の美化活動を推進します。		継続	街路樹本数(市道)		本	(累計)	18,621	18,477	↓		A			
			街路樹本数(府道)	本		(累計)	7,347	7,276	↓		今後の留意すべき点・改善点				
			担当課	街路樹本数(国道)		本	(累計)	375	374	↓		全ての施策を実施し、低下している指標もあるが、適切な管理による変動のため、進捗評価をAとします。 老木化や樹勢の劣化などの様々な問題が生じている街路樹について、適切な剪定や植栽を行うため及び新たな街路樹の保全、育成をするため、計画的に維持管理を行う必要があります。			
			基盤保全課 公園みどり 推進課 (維持管理係、 整備改良係) 基盤整備課 美化推進課	街路樹低木面積(市道)		m ²	(累計)	80,105	80,168	↑					
				豊中市アダプトシステム協定締結件数		件	(累計)	26	26	—					
				大阪府アドプト・ロードプログラム協定締結件数		件	(単年)	13	13	—					
				自主管理協定制度登録団体数		団体	(累計)	174	169	↓					
	自主管理協定制度活動箇所数(緑道)	箇所	(累計)	20	20	—	要綱改正により今後は、制度上増加はない。								
			担当課	令和5年度 の実施内容・評価					施策に対する課題						
			公園みどり推進課 (維持管理係)	街路樹の剪定や樹木の更新を実施しました。 「自主管理協定制度」や「豊中市アダプトシステム」に参加している団体による清掃活動等を行いました。					多くの街路樹は植栽後数十年が経過し、老木や樹勢の劣化など様々な問題が生じており、保全、育成をしていくためにも、計画的な維持管理を行う必要があります。 自主管理協定制度活動等においては、担い手の高齢化により活動継続が難しくなっています。						
			基盤保全課	街路樹の植替工事及び撤去工事を実施しました。 撤去工事にて撤去した樹木の再植栽可能な箇所については、令和6年度以降に行う予定とし、交通の安全管理上再植栽が難しい箇所については低木の捕植を行いました。					緑道など整備については、権利関係が輻輳している場合が多く、調整に時間を要します。						

具体 施策	9. 河川のみどりの保全												
施策 内容	施策概要	実施状況	モニ ター 指標	指標	単位	区分	令和4年度	令和5年度	増減	指標に対する 補足・留意事項	公園 みどり 推進課 による 検証	進捗評価	
	河川のみどりを保全するため、景観や利活用、周辺環境、生き物の生息・生育環境に配慮した適正な維持管理を推進するとともに、河川に隣接する公園・緑地や街路樹、河川沿いのみどりの量を確保する維持管理を推進します。 猪名川や旧猪名川の堤防敷や高水敷に発達したまとまりのある草地の環境を保全するため、生き物の生息・生育環境に配慮した草刈りなどの維持管理を推進します。 緑道や緑地帯が整備されている神崎川の高水敷において、景観や利活用に配慮した樹木の剪定や草刈りなどの適正な維持管理を行います。 千里川や兎川などのまちなかを流れる河川のみどりを保全するため、周辺環境に配慮した維持管理を推進するとともに、河川に隣接する公園・緑地や街路樹のみどりの量の確保に努めます。 堤内地側の法面に樹林地や草地が多く見られる天竺川や高川において、河川沿いのみどりの量を確保する樹木の剪定や草刈りなどの維持管理を推進します。 地元の自治会や事業者などの団体が行う清掃活動などを支援する「大阪府アドプト・リバープログラム」により、河川の美化活動を推進します。	継続		大阪府アドプト・リバープログラム協定締結件数	件	(単年)	10	10	—			B	
				河川流域面積	ha	(累計)	77.4	77.4	—			今後の留意すべき点・改善点	
		担当課		担当課	令和5年度 の実施内容・評価				施策に対する課題			全ての施策を実施しているが、昨年度から実績が改善されていないため、進捗評価をBとします。	
		大阪府 公園みどり 推進課 (維持管理係、 緑化自然 環境係)	公園みどり推進課 (維持管理係)	河川に隣接する公園・緑地や街路樹について、剪定や草刈りなどの維持管理を行いました。また、「大阪府アドプト・リバープログラム」に参加している団体による河川の清掃活動を行いました。				河川のみどりの保全には、河川管理者と協働しながら推進していく必要があり、そのため「大阪府アドプト・リバープログラム」などの制度について地域住民に対して広くPRを行っていく必要があります。					河川のみどりの保全のため、「大阪府アドプト・リバープログラム」などの制度を積極的に地域住民にPRし、地域との協働による維持管理を行う必要があります。
具体 施策	10. 水路のみどりの保全や育成												
施策 内容	施策概要	実施状況	モニ ター 指標	指標	単位	区分	令和4年度	令和5年度	増減	指標に対する 補足・留意事項	公園 みどり 推進課 による 検証	進捗評価	
	中央幹線景観水路や豊能南部親水水路のみどりを保全するため、散策路の環境や良好な景観を維持する樹木の剪定などの適正な維持管理を行います。	継続		親水水路樹木本数	本	(累計)	1,207	1,207	—			B	
				親水水路低木面積	㎡	(累計)	8,706	8,706	—			今後の留意すべき点・改善点	
		担当課		担当課	令和5年度 の実施内容・評価				施策に対する課題			全ての施策を実施しているが、昨年度から実績が改善されていないため、進捗評価をBとします。	
		基盤保全課 公園みどり 推進課 (緑化自然 環境係)	担当課による 検証	基盤保全課	水路施設において、植樹帯の清掃や植栽管理などの維持管理を行いました。				良好な景観を維持していくために、継続した植栽管理が必要です。				水路施設の老朽化によって、良好な景観が損なわれないよう、計画的な維持管理や更新を行う必要があります。

具体 施策	1 1. ため池のみどりの保全											
施策 内容	施策概要	実施状況	モニ タ ー 指標	指標	単位	区分	令和4年度	令和5年度	増減	指標に対する 補足・留意事項	公園 みどり 推進課 による 検証	進捗評価
	公園・緑地のため池について、生き物の生息・生育環境、景観に配慮した樹木の剪定や草刈りなどの適正な維持管理を行うとともに、その他のため池についても、周辺環境に配慮した適正な維持管理を推進します。	継続		公共系ため池箇所数	箇所	(累計)	38	38	—			A
		担当課	担当 課 による 検証	担当課	令和5年度 の実施内容・評価		施策に対する課題		今後の留意すべき点・改善点			
		資産管理課 公園みどり 推進課 (維持管理係、 緑化自然 環境係)		公園みどり推進課 (維持管理係)	公園・緑地内のため池周辺について、生き物の生息・生育環境、景観を維持するため、除草や清掃など維持管理を行いました。		公園・緑地内のため池周辺について、生き物の生息・生育環境、景観を維持するため、地域と協働し維持管理をしていく必要があります。			施策を実施し、指標も良好なため、進捗評価をAとします。 公園・緑地のため池について、良好な生き物の生息・生育環境、景観を推進するため、地域と協働しながら適正な維持管理を継続的に行う必要があります。		

基本施策4 農地の保全

具体 施策	1 2. 生産緑地地区制度の活用											
施策 内容	施策概要	実施状況	モニ ター 指標	指標	単位	区分	令和4年度	令和5年度	増減	指標に対する 補足・留意事項	公園 みどり 推進課 による 検証	進捗評価
	「生産緑地地区制度」などの活用により、農地の計画的な保全に努めるとともに、必要に応じて、指定面積要件の緩和や特定生産緑地の指定などについて検討します。 同地区を農地として維持していくため、「農空間保全地域制度」の活用により、農業者だけでなく、市民の幅広い参加による農空間の保全と活用を推進します。	拡充		生産緑地地区面積	ha	(累計)	37.35	37.18	↓			B
				農地面積	ha	(累計)	55.00	53.49	↓			今後の留意すべき点・改善点
		担当課	担当課 による 検証	担当課	令和5年度 の実施内容・評価			施策に対する課題				全ての施策を実施しているが、実績が低下している指標があるため、進捗評価をBとします。 全域市街化区域のため、農地面積は減少傾向にありますが、農地保全に向けて生産緑地制度を有効活用するため、生産緑地の追加指定や適正管理など、制度に関する情報を広く周知する必要があります。
		都市計画課 大阪府 農業委員会事務局		都市計画課	生産緑地地区の追加指定を行いました。 生産緑地地区の適正管理に関する指導に務めました。			農地保全に向けて生産緑地制度を有効活用するため、生産緑地の追加指定や適正管理など、制度に関する情報を広く周知する必要があります。				

具体 施策	1 3. 市民農園の活用											
施策 内容	施策概要	実施状況	モニ タ― 指標	指標	単位	区分	令和4年度	令和5年度	増減	指標に対する補足・留意 事項	公園 みどり 推進課 による 検証	進捗評価
	市民農園の利用促進と充実化及び運営の 効率化などを図るため、農地の貸付協定の締 結を推進するとともに、市民農園の提供期間 などの運営手法の見直しについて検討しま す。	拡充		市民農園箇所数	箇所	(累計)	21	20	↓			B
		担当課	担 当 課 に よ る 検 証	担当課	令和5年度 の実施内容・評価			施策に対する課題		今後の留意すべき点・改善点		
		農業委員会 事務局		農業委員会 事務局	市民農園開設者と貸付け協定を締結し、運営費の助 成及び利用者募集、栽培講習会を実施しました。			開設者の高齢化が進み、相続発生 時には閉園する農園が増えており、 区画数確保が課題です。		全ての施策を実施しているが、実績が低下し ている指標があるため、進捗評価をBとしま す。 開設者の高齢化による相続発生時の閉園が 課題となっていることから、農園の確保に努 めるとともに、開設を維持していけるような運 営手法の見直しについて検討が必要です。		

施策の進捗・効果検証シート

基本方針 2 都市のみどりや地域の身近なみどりの創出

基本施策 5 公有地の緑化

A:すべての指標の増加(増加が困難なものは考慮) + すべての施策概要について取組実施
B:A、C、Dに該当しないもの
C:指標の減少あり(項目の半分以上) + 施策取組未実施のものが多く(半分以上)
D:すべての指標の減少 + 施策取組全部未実施

指標の増減なしは、評価として「増加」とみなす。「0」は評価として「減少」とみなす。

計画の目標値に大きく関係する指標がある施策(イベントの参加者数)などは別途、判断

具体 施策	1 4. 駅前や道路における特色のある緑化												
施策 内容	施策概要	実施状況	モニター 指標	指標	単位	区分	令和4年度	令和5年度	増減	指標に対する 補足・留意事項	公園 みどり 推進課 による 検証	進捗評価	
	駅前広場や道路沿いなどの多くの人が通行する場所に、花壇やフラワーポットなどを設置し、シンボルとなるみどりの形成をめざした緑化に努めるとともに、「まちづくり協議会」とも連携し、四季折々の草花による緑化を推進します。	継続		花壇設置面積	m ²	(累計)	1,284	1,284	—			A	
				フラワーポット設置数	基	(累計)	1,542	1,008	↓			今後の留意すべき点・改善点	
		担当課		まちづくり団体の取組み箇所数	箇所	(累計)	4	5	↑			全ての施策を実施し、低下している指標もあるが、適切な管理による変動のため、進捗評価をAとします。	
		公園みどり推進課 (緑化自然環境係、花とみどりの相談所)		まちづくり団体のみどりの活動プロジェクト件数	件	(累計)	2	2	—				駅前広場や道路沿いなどの多くの人が通行する場所では、物理的な制約があり、量的なみどりの増加は難しいものの、特色あるみどりの創出には地域の緑化活動団体との協働が重要となるため、活動に対する支援や活動者の高齢化による担い手の減少に向けた新たな人材発掘と育成が必要です。
				花苗育苗数	株	(単年)	54,210	51,107	↓				
			担当課	令和5年度 の実施内容・評価			施策に対する課題						
			公園みどり推進課 (緑化自然環境係)	フラワーポットの総数は減りましたが、通学路等、効果的な配置や育成する花苗の見直しを行いました。また、市民との協働で花苗を育苗し、イベントなどでの配布や各地域の花壇活動グループ等への提供を行いました。			引き続き、より効果的なフラワーポットの配置や管理手法の検討が必要です。						

具体 施策	1 5. 多様な手法による公共施設の緑化											
施策 内容	施策概要	実施状況	モニター 指標	指標	単位	区分	令和4年度	令和5年度	増減	指標に対する 補足・留意事項	公園みどり推進課による検証	進捗評価
	新規整備や大規模改修を行う施設において、「豊中市環境配慮指針」の適用を受ける場合には、同指針で示す緑化率を満たすことに努めるとともに、これ以外においても、可能な範囲で花壇などの植栽空間を確保して緑化を推進します。 既存施設におけるオープンスペースや壁面などを利用するなど、施設の規模に応じて屋上緑化や壁面緑化などを推進します。 施設の緑化の際には、必要に応じて生物多様性や地域の植生に配慮した樹種を取り入れるなど、周辺環境や景観との調和を図ります。 民有地の緑化の模範となるように、多様な手法や工夫を取り入れながら、ライフサイクルコストを踏まえた緑化に努めます。	継続		環境配慮協議件数	件	(単年)	2	3	↑	担当課よりR4数値訂正あり		B
		環境配慮協議緑化面積		㎡	(単年)	3,967	1,956	↓	担当課よりR4数値訂正あり	今後の留意すべき点・改善点		
		公共施設屋上緑化面積		㎡	(累計)	35,896	35,866	↓		全ての施策を実施しているが、実績が低下している指標があるため、進捗評価をBとします。 今後も公共施設の整備や大規模改修が見込まれますが、その際には、環境配慮指針に基づいた適切な指導を行うことが必要です。 引き続き、民有地の緑化の模範となるように公共施設のオープンスペースや壁面などを利用した緑化の推進や、必要に応じて生物多様性や地域の植生に配慮した樹種を取り入れるなど、周辺環境や景観との調和を図りながら緑化を進めていく必要があります。		
		公立小学校みどりのカーテン実施箇所数		箇所	(単年)	30	25	↓				
		公共施設等みどりのカーテン実施箇所数		箇所	(単年)	32	28	↓				
		公共施設等ビオトープ設置件数		件	(単年)	5	5	—				
	公共施設等ビオトープ設置面積	㎡	(単年)	2,379	2,379	—						
			担当課	令和5年度 の実施内容・評価				施策に対する課題				
			環境指導課	開発行為などの整備に伴い、環境配慮指針の適切な指導を行いました。				公共施設の整備や大規模改修の際には、引き続き環境配慮指針に基づき適切な指導を行うとともに、民有地の模範となるような良質な植栽空間づくりへのアドバイスも必要です。				
具体 施策	1 6. 市民の交流拠点となるポケットパークの緑化											
施策 内容	施策概要	実施状況	モニター 指標	指標	単位	区分	令和4年度	令和5年度	増減	指標に対する 補足・留意事項	公園みどり推進課による検証	進捗評価
	市民との協働により、ポケットパークの緑化を推進するとともに、ポケットパークなどを新しく整備する際には、人々の憩いや休息の場ともなる緑陰の形成や遮蔽効果などを発揮する緑化を推進します。	継続		フラワーポット設置数	基	(累計)	1,542	1,008	↓			B
		花壇設置面積		㎡	(累計)	1,284	1,284	—		今後の留意すべき点・改善点		
		担当課		花苗育苗数	株	(単年)	54,210	51,107	↓			全ての施策を実施しているが、実績が低下している指標があるため、進捗評価をBとします。 引き続き、市民との協働でまちなかの交流拠点としての既存のポケットパークの維持管理を進めるほか、道路整備などにかかる残地が発生した場合には、みどりを活用した憩いのスペースの整備を進めることが必要です。
		公園みどり推進課 （緑化自然環境係、維持管理係、整備改良係）		まちづくり団体のみどりの活動プロジェクト件数	件	(累計)	2	5	↑			
			まちづくり団体の取組み箇所数	箇所	(累計)	4	2	↓				
			担当課	令和5年度 の実施内容・評価				施策に対する課題				
			公園みどり推進課 （緑化自然環境係）	新たなポケットパークの整備はありませんでしたが、緑陰を保全する剪定を行うなど市民の交流となるよう既存のポケットパークの維持管理を行いました。 市民との協働によるフラワーポットや花壇の維持管理を行いました。				道路整備などにかかる残地が発生した場合には、みどりを活用した憩いのスペースの整備が必要です。 フラワーポットの効果的な設置場所の見直しが必要です。				

具体 施策	1 7． 教育施設や保育施設における緑化												
施策 内容	施策概要	実施状況	モニ ター 指標	指標	単位	区分	令和4年度	令和5年度	増減	指標に対する 補足・留意事項	公園みどり推進課による検証	進捗評価	
	市民との協働により、民有地を含めた学校やこども園などでの環境教育教材ともなるみどりのカーテンづくりに取り組むほか、花壇やプランター、農園の整備などによる緑化活動を推進します。 民有地を含めた学校やこども園などの校庭や園庭のオープンスペースなどを活用し、樹木緑化やビオトープの整備を推進するとともに、芝生化した校庭や園庭を良好な状態に保つため、踏圧からの回復を図るための灌水や芝刈り、芝の養生などの維持管理に努めます。	継続		緑化樹配付件数（公立小・中学校）	件	（単年）	2	2	—			B	
				緑化樹配付本数（公立小・中学校）	本	（単年）	17	20	↑			今後の留意すべき点・改善点	
		教育委員会事務局 こども事業課 公園みどり推進課（緑化自然環境係）		担当課	小・中学校及びこども園ビオトープ設置件数	件	（単年）	21	21	—		公立高校含む	全ての施策を実施しているが、実績が低下している指標があるため、進捗評価をBとします。 公共の教育施設や保育施設は、みどりのカーテンづくりなどの取組みが根付き、施策が進んでいます。 今後もこれらの取組みを継続するとともに、校庭や園庭のオープンスペースなどを活用した樹木緑化や、ビオトープの整備を進める必要があります。
				小・中学校及びこども園ビオトープ設置面積	m ²	（単年）	4,240	4,240	—	公立高校含む			
					公立小学校農園実施校数	校	（単年）	41	39	↓		学校再編による減	
					公立小学校みどりのカーテン実施箇所数	箇所	（単年）	30	25	↓			
					公立小・中学校・こども園芝生化件数	件	（単年）	7	6	↓		学校再編による減（担当課よりR4数値訂正あり）	
			公立小・中学校・こども園芝生化面積		m ²	（単年）	5,500	7,700	↑	学校再編による減			
			担当課	令和5年度 の実施内容・評価				施策に対する課題					
		公園みどり推進課（緑化自然環境係）	公立小・中学校への緑化樹の配付等を行いました。 公立小学校やこども園等にゴーヤの苗を配布し、みどりのカーテンづくりを行いました。				学校再編による統廃合に伴い、学校農園や芝生化面積などが減少傾向にあります。						

基本施策6 民有地の緑化

具体 施策	1 8. 環境配慮指針に基づく緑化											
施策 内容	施策概要	実施状況	モニ ター 指標	指標	単位	区分	令和4年度	令和5年度	増減	指標に対する 補足・留意事項	公園 みどり 推進課 による 検証	進捗評価
	宅地化などの開発行為に対して、「豊中市 環境配慮指針」に示している緑化率の確保に 向けた事業者などとの協議を行い、敷地内の 緑地の保全及び緑化を推進します。	継続		環境影響評価計画書提出 件数	件	(単年)	1	4	↑	計画書3件 準備書1件		A
				環境配慮協議件数	件	(単年)	33	26	↓			今後の留意すべき点・改善点
		担当課	環境配慮協議緑化面積	m ²	(単年)	15,578	7,542	↓		全ての施策を実施し、低下している指標もあるが、適切な協議による変動のため、進捗評価をAとします。 宅地化などの開発行為が行われる際には、事業者と協議し、「豊中市環境配慮指針」に基づく緑化協議により、緑化を推進する必要があります。		
		環境指導課	担当課	令和5年度 の実施内容・評価				施策に対する課題				
			環境指導課		環境配慮協議件数、環境配慮協議緑化面積ともに、前年度に比べて減少しています。 ただ、協議物件については、計画段階から緑地について協議を進めることで、指針に基づく緑化ができています。				敷地面積が少ない物件では平面緑化だけでなく、高木の植栽や壁面緑化など立体的な緑化を採用する物件が多いです。 教育機関では運動場などで大きく敷地を確保する必要があるため、平面緑地を確保するのが難しくなっています。			

具体 施策	19．住宅地における緑化											
施策 内容	施策概要	実施状況	モニター 指標	指標	単位	区分	令和4年度	令和5年度	増減	指標に対する 補足・留意事項	公園 みどり 推進課 による 検証	進捗評価
	住宅地の沿道の緑化を推進するため、「生垣緑化助成金交付制度」の対象の拡大、基準の緩和などの制度の拡充、一定の緑化を達成する住宅に対する奨励金や税制優遇などを検討するとともに、積極的な制度の普及啓発に努めます。 自治会やマンションの管理組合などに対して、大阪府の樹木を配付する事業と連携して「緑化樹等配付制度」により緑化用樹木を配付し、屋上緑化も含めた幅広い活用を推進するとともに、積極的な制度の普及啓発に努めます。 出生などの記念として、市の木である「キンモクセイ」や市の花である「バラ」などの苗木を配付することについて検討します。	継続		緑化樹配付件数(住宅地)	件	(単年)	13	34	↑			A
		緑化樹配付本数(住宅地)		本	(単年)	1,119	2,807	↑		今後の留意すべき点・改善点		
		担当課		生垣緑化助成件数(住宅地)	件	(単年)	6	4	↓			令和4年度より、沿道緑化の件数を含む
		公園みどり推進課 (緑化自然環境係)		生垣緑化助成本数(住宅地)	本	(単年)	110	9	↓			令和4年度より、沿道緑化の本数を含む
				生垣緑化助成延長(住宅地)	m	(単年)	320	0	↓			令和5年度は、生垣への助成無し
				記念樹の配付本数	本	(単年)	—	—	—	休止中		
	担当課 検証 による	担当課	令和5年度 の実施内容・評価				施策に対する課題		民有地において活用しやすい緑化支援制度の見直しや広報が必要です。			
		公園みどり推進課 (緑化自然環境係)	住宅地に対して、緑化用樹木の配布や生垣等への緑化助成を行いました。									
具体 施策	20．商業地における緑化											
施策 内容	施策概要	実施状況	モニター 指標	指標	単位	区分	令和4年度	令和5年度	増減	指標に対する 補足・留意事項	公園 みどり 推進課 による 検証	進捗評価
	商業施設に対して、「生垣緑化助成金交付制度」や「緑化樹等配付制度」による緑化支援を行うとともに、「まちづくり協議会」とも連携するなど、市民との協働による育苗活動を通じた花苗提供などによる草花緑化を推進します。 「中心市街地にぎわい事業助成金交付制度」により、商店街組合などの複数施設での一体的な緑化を推進します。 市街地中心部や駅前などの場所で、緑化施設の整備や緑化促進活動を行う事業者などに対して、大阪府がそれらにかかる経費の一部を補助する「実感できるみどりづくり事業」と連携して緑化を推進します。	継続		緑化樹配付件数(商業地)	件	(単年)	0	0	—			B
		緑化樹配付本数(商業地)		本	(単年)	0	0	—		今後の留意すべき点・改善点		
		担当課		生垣緑化助成件数(商業地)	件	(単年)	0	0	—			令和4年度より、沿道緑化の件数を含む
		公園みどり推進課 (緑化自然環境係) 魅力文化創造課 大阪府		生垣緑化助成本数(商業地)	本	(単年)	0	0	—			令和4年度より、沿道緑化の本数を含む
				生垣緑化助成延長(商業地)	m	(単年)	0	0	—			
				まちづくり団体のみどりの活動プロジェクト件数	件	(累計)	2	2	—			
				まちづくり団体の取組み箇所数	箇所	(累計)	4	5	↑			
				豊中市まちづくりにぎわい事業助成金交付件数	件	(単年)	15	14	↓			
				実感できるみどりづくり事業補助件数	件	(単年)	0	0	—			
		担当課 検証 による	担当課	令和5年度 の実施内容・評価				施策に対する課題		商業地において活用しやすい緑化支援制度の見直しや広報が必要です。		
	公園みどり推進課 (緑化自然環境係)		商業施設に対する緑化用樹木の配布、生垣等の助成は、ありませんでした。									

具体 施策	2 1. 工業地における緑化											
施策 内容	施策概要	実施状況	モニ ター 指標	指標	単位	区分	令和4年度	令和5年度	増減	指標に対する 補足・留意事項	公園 みどり 推進課 による 検証	進捗評価
	工場などの事業所に対して、「緑化樹等配 付制度」による緑化を推進するとともに、「環 境配慮奨励金交付制度」により、準工業又は 工業地域における事業所の新設や増設、建 替えなどの際の積極的な緑化を推進します。	継続		緑化樹配付件数(工業地)	件	(単年)	1	0	↓			B
		担当課		緑化樹配付本数(工業地)	本	(単年)	12	0	↓			今後の留意すべき点・改善点
				環境配慮奨励金交付件数	件	(単年)	2	2	—			一部実施することができなかったため、進捗 評価をBとします。 住宅地に比べ、緑化の取組みが少ない工業 地に対して、「環境配慮奨励金交付制度」など の制度との連携による施策の推進や、継続 的な情報の発信を行う必要があります。
		公園みどり 推進課 (緑化自然 環境係) 産業振興課	担当課	令和5年度 の実施内容・評価				施策に対する課題				
			公園みどり推進課 (緑化自然環境係)	工業地に対して、緑化支援として緑化用樹木の配布を 行いました。				工業地において活用しやすい緑化 支援制度の見直しや広報が必要で す。				

具体 施策	2 2. 道路沿線における緑化											
施策 内容	施策概要	実施状況	モニ ター 指標	指標	単位	区分	令和4年度	令和5年度	増減	指標に対する 補足・留意事項	公園みどり 推進課による 検証	進捗評価
	大阪府が道路及びその沿線などを指定する「みどりの風促進区域」において、地域住民や事業者などが主体となる行う緑化活動に対して、大阪府が樹木などの緑化資材の提供や経費の一部を補助する「みどりの風の道形成事業」と連携して緑化を推進します。	継続		みどりの風の道形成事業補助件数	件	(累計)	0	0	—			C
		担当課	担当課による 検証	担当課	令和5年度 の実施内容・評価				施策に対する課題			今後の留意すべき点・改善点
		大阪府 公園みどり 推進課 (緑化自然 環境係)		公園みどり推進課 (緑化自然環境係)	みどりの風の道形成事業補助は、ありませんでした。				促進区域における民有地の緑化整備を促進するため、民間事業者が行う開発行為・建築行為に対する環境配慮協議を行う際、大阪府と連携を図る必要があります。			施策の実施は民間事業者の開発によりますが、実績はありませんので、進捗評価をCとします。 促進区域における民有地の緑化整備を促進するため、民間事業者が行う開発行為等や建築行為に対する環境配慮協議を行う際には大阪府への情報提供とともに事業者への働きかけが必要です。

基本施策 7 景観を形成するみどりづくり

具体 施策	2 3. 風致地区におけるみどりと調和した都市景観づくり											
施策 内容	施策概要	実施状況	モニ ター 指標	指標	単位	区分	令和4年度	令和5年度	増減	指標に対する 補足・留意事項	公園 みどり 推進課 による 検証	進捗評価
	服部風致地区、大石塚風致地区、稲荷山風 致地区、東豊中風致地区において、自然など のみどりと調和した都市景観の形成に努めま す。	継続		風致地区決定面積	ha	(累計)	194.4	194.4	—			A
		担当課	担 当 課 に よ る 検 証	担当課	令和5年度 の実施内容・評価			施策に対する課題				今後の留意すべき点・改善点
		都市計画課 公園みどり 推進課 (緑化自然 環境係)		都市計画課	風致地区内において建築物の新築、宅地の造成、木 竹の伐採等の行為を行う場合、条例の基準をもとに審 査を行い、許可を行いました。			風致に富んだ良好な都市景観を継 承していくために、許可基準に基づく 適正な規制を継続して行い、許可に 基づく行為の終了後は、許可内容と の適合を確認するため、行為の完了 届を適切に提出させる必要があります。				

具体 施策	2 4. 良好なみどりの景観を形成する制度を活用した地域づくり											
施策 内容	施策概要	実施状況	モニター 指標	指標	単位	区分	令和4年度	令和5年度	増減	指標に対する 補足・留意事項	公園みどり推進課による検証	進捗評価
	みどり豊かなまちなみの形成を推進するため、緑地協定の制度による緑地の保全や緑化を推進します。 みどりによる良好な景観の形成を推進するため、都市景観形成推進地区や景観形成協定、地区計画、建築協定など、地区の住環境や緑化に関するルールづくりの取組みを支援します。	継続		地区計画決定件数	件	(累計)	24	24	—			A
		緑地協定締結件数		件	(単年)	2	2	—		今後の留意すべき点・改善点		
		担当課		景観形成協定締結件数	件	(累計)	2	2	—			全ての施策を実施し、指標も概ね良好なため、進捗評価をAとします。 地区の住環境における良好なみどりの景観を維持するため、引き続き地区計画や緑地協定等の状況把握を行うとともに、生垣緑化助成や緑化樹配付等の緑化支援制度の活用について、開発行為や地区計画に係る担当部局等と連携し周知や啓発を進めることが必要です。
		公園みどり推進課 (緑化自然環境係)		建築協定締結件数	件	(累計)	9	9	—			
				都市景観形成推進地区指定件数	件	(累計)	7	7	—			
	都市計画課 建築審査課	担当課	令和5年度 の実施内容・評価			施策に対する課題						
		公園みどり推進課 (緑化自然環境係)	新たな地区計画や緑地協定等の決定は、ありませんでした。			開発行為や地区計画に係る担当部局等との連携が必要です。						
具体 施策	2 5. 花とみどりの名所づくり											
施策 内容	施策概要	実施状況	モニター 指標	指標	単位	区分	令和4年度	令和5年度	増減	指標に対する 補足・留意事項	公園みどり推進課による検証	進捗評価
	既存のバラ園、花しょうぶ園の魅力を高めるため、老朽化した施設の更新を行うとともに、適正な育成管理を行います。 市内の花とみどりの魅力を伝えるため、市民との協働により、花や並木、自然が豊かなみどりなどの名所をまとめた「花とみどりの名所マップ」の作成について検討し、それらの名所の適正な維持管理を推進します。	拡充		バラ園育成管理本数	本	(累計)	2,399	2,399	—			A
		花しょうぶ園育成管理面積		m ²	(累計)	829	829	—	担当課よりR4数値訂正あり	今後の留意すべき点・改善点		
	担当課	担当課による検証	担当課	令和5年度 の実施内容・評価			施策に対する課題			全ての施策を実施し、指標も概ね良好なため、進捗評価をAとします。(R4の数値訂正に伴い管理面積増加) 市内の花とみどりの魅力を伝えるため、公園などの公共施設だけではなく、民有地などの花とみどりも含めた適正な維持管理や、「みんなでつくる花とみどりの名所」マップの充実をはじめとする広報が必要です。		
	公園みどり推進課 (緑化自然環境係、花とみどりの相談所、整備改良係)		公園みどり推進課 (緑化自然環境係)	花しょうぶ園について、3年間の長期による育成管理委託を開始しました。			バラ園の育成管理についても長期の委託が有効と思われる。 「花とみどりの名所マップ」への参加団体の増加と広報が必要です。					
具体 施策	2 6. みどりを見渡す眺望点づくり											
施策 内容	施策概要	実施状況	モニター 指標	指標	単位	区分	令和4年度	令和5年度	増減	指標に対する 補足・留意事項	公園みどり推進課による検証	進捗評価
	市のみどりを見渡すことができる千里緑地や島熊山緑地などの眺望点において、周辺樹木の剪定や施設改修などの眺望を確保する適正な維持管理を行います。	継続		眺望点設置箇所数	箇所	(累計)	5	5	—			A
		担当課	担当課による指標	担当課	令和5年度 の実施内容・評価			施策に対する課題				今後の留意すべき点・改善点
		公園みどり推進課 (維持管理係、緑化自然環境係)		公園みどり推進課 (緑化自然環境係)	島熊山緑地において、みどり豊かな眺望の確保のため、市民との協働により、園路の整備や森林病虫害の防除などの維持管理を行いました。			各眺望景観を保全できるよう、地域と眺望景観の価値を共有しつつ、眺望の特徴を活かした適正な維持管理が必要です。				施策を実施し、指標も良好なため、進捗評価をAとします。 眺望景観を保全できるよう、地域と眺望景観の価値を共有しつつ、眺望の特徴を活かした適正な維持管理を行うことが必要です。

具体 施策	2 7． 草花による美しいまちなみづくり												
施策 内容	施策概要	実施状況	モニ ター 指 標	指標	単位	区分	令和4年度	令和5年度	増減	指標に対する 補足・留意事項	公園 みどり 推 進 課 に よ る 検 証	進捗評価	
	多くの人が集まる駅前や道路沿い、公園・緑地、その他の公共施設などの魅力を高めるため、それらの場所において、市民参加による「みんなで育てる花いっぱいプロジェクト」や「花いっぱい運動」のほか、市民との協働による地域での草花緑化の活動を推進します。 農閑期の農地の景観を形成するため、農家に対して草花の種子を配布し、農地を活用した草花緑化を推進します。	継続		花いっぱい運動団体数(花 いっぱい運動ネットワーク)	団体	(累計)	37	40	↑			A	
		担当課		花いっぱい運動写真展応募数	点	(単年)	55	55	—	R2年度終了。R3年度からは、「花とみどりの名所マップづくり写真展」を実施し、出展数を記載		今後の留意すべき点・改善点	
				花苗育苗数	株	(単年)	54,210	51,107	↓			全ての施策を実施し、低下している指標もあるが、適切な運営管理による変動のため、進捗評価をAとします。 多くの人が集まる場所における、特色あるみどりの創出には地域の緑化活動団体との協働が欠かせないため、引き続き活動に対する支援や新たな人材発掘及び育成が必要です。	
				花壇設置面積	m ²	(累計)	1,284	1,284	—				
				フラワーポット設置数	基	(累計)	1,542	1,008	↓				
				種子・球根配布数	袋・球	(単年)	5,052	7,512	↑	担当課よりR4数値訂正あり			
				レンゲ種子配布量	kg	(単年)	105	106	↑				
	担当 課 検 証 よ る	担当課	令和5年度 の実施内容・評価			施策に対する課題							
		公園みどり推進課 (緑化自然環境係)	市民との協働により、花苗の生産や公共施設等への配布を行いました。 花いっぱい運動団体への支援やレンゲの種子の配布を行いました。			活動者の高齢化などによる縮小が懸念されることから、活動の支援や人材発掘、育成が必要です。							
具体 施策	2 8． 屋上や壁面を活用したみどりづくり												
施策 内容	施策概要	実施状況	モニ ター 指 標	指標	単位	区分	令和4年度	令和5年度	増減	指標に対する 補足・留意事項	公園 みどり 推 進 課 に よ る 検 証	進捗評価	
	市民との協働により、小学校をはじめ、市役所などの公共施設や民間施設などに対して、育苗した苗の提供や植付け指導を行うなど、みどりのカーテンづくりを推進するとともに、取組みを拡大するため、積極的な壁面緑化の普及啓発に努めます。 「豊中市環境配慮指針」の対象となる施設については、施設の規模に応じて、緑化協議による屋上緑化や壁面緑化を推進します。	継続		環境配慮協議件数	件	(単年)	2	3	↑	担当課よりR4数値訂正あり		B	
		担当課		環境配慮協議緑化面積	m ²	(単年)	3,967	1,956	↓	担当課よりR4数値訂正あり		今後の留意すべき点・改善点	
				公園みどり 推進課 (緑化自然 環境係) 環境指導課	公立小学校みどりのカーテン実施箇所数	箇所	(単年)	30	25	↓			全ての施策を実施し、指標も概ね良好なため、進捗評価をAとします。 市民や事業者と協働し、屋上や壁面を活用したみどりづくりを推進していくとともに、公共施設や民間施設が、自主的に屋上緑化や壁面緑化に取り組んでもらえるような普及啓発活動が引き続き必要です。
	公共施設等みどりのカーテン実施箇所数	箇所	(単年)		32	28	↓						
	担当 課 検 証 よ る	担当課	令和5年度 の実施内容・評価			施策に対する課題							
		公園みどり推進課 (緑化自然環境係)	公立小学校や公共施設等にゴーヤの苗を配布し、みどりのカーテンづくりを行いました。			引き続き、公立小学校を中心としたみどりのカーテンづくりの支援を実施していく必要があります。							

施策の進捗・効果検証シート

基本方針3 みどりを活かした安全で快適なくらしの実現

基本施策8 魅力的で利便性の高い公園づくり

A:すべての指標の増加(増加が困難なものは考慮) + すべての施策概要について取組実施
B:A、C、Dに該当しないもの
C:指標の減少あり(項目の半分以上) + 施策取組未実施のものが多い(半分以上)
D:すべての指標の減少 + 施策取組全部未実施

指標の増減なしは、評価として「増加」とみなす。「0」は評価として「減少」とみなす。

計画の目標値に大きく関係する指標がある施策(イベントの参加者数)などは別途、判断

具体 施策	29． 長期未整備の都市計画公園・緑地の見直し											
施策 内容	施策概要	実施状況	モニ タ ー 指 標	指標	単位	区分	令和4年度	令和5年度	増減	指標に対する 補足・留意事項	公園 み ど り 推 進 課 に よ る 検 証	進捗評価
	長期未整備となっている都市計画公園・緑地につ いては、都市計画決定後の社会情勢の変化を踏ま えて、必要性や実現性など、様々な観点から整備 のあり方について検討します。	新規		都市計画公園・緑地未整 備面積	m ²	(累計)	366,900	366,900	—			B
		担当課	担 当 課 に よ る 検 証	担当課	令和5年度 の実施内容・評価		施策に対する課題		今後の留意すべき点・改善点			
		公園みどり 推進課 (整備改良係)		公園みどり推進課 (整備改良係)	長期未整備となっている都市計画公園・緑地を対象 に、整備の必要性について検討しました。		長期未整備となっている都市計画公園・緑地の未整備解消については、 用地取得の課題などがあり、時間を 要します。 今後もこれまでと同様に近隣の公 園・緑地などで、未整備となっている 公園の機能が補完できるかを勘案し ながら、整備の必要性を検討して いく必要があります。		施策を実施しているが、実績が改善されていない ため、進捗評価をBとします。 長期未整備となっている都市計画公園・緑地につ いて、用地を取得するにあたり、長期に時間を要す ることや利用者がどのような公園を求めているか考 慮しながら、整備の必要性や実現性について検討 していく必要があります。			
具体 施策	30． 安全で特色のある公園づくり											
施策 内容	施策概要	実施状況	モニ タ ー 指 標	指標	単位	区分	令和4年度	令和5年度	増減	指標に対する 補足・留意事項	公園 み ど り 推 進 課 に よ る 検 証	進捗評価
	「豊中市公園施設長寿命化計画」や「都市公園移 動等円滑化基準」などに基づき、老朽化が進んだ 公園・緑地の施設の更新やバリアフリー化などを推 進します。 公園・緑地の活性化を図るため、公園スペースの 有効活用に努めるとともに、再整備や施設の改修 の際は、地域住民の意見を取り入れるなど、利用 者のニーズや少子高齢化、健康志向などの社会背 景などを踏まえた公園づくりを推進します。 本市の魅力である高校野球発祥の地であることを 広く周知するため、高校野球発祥の地記念公園 の活用に努めます。 体力向上や健康増進などを目的に、運動施設や 植栽のみどりを充実させる神崎川公園の再整備を 行うとともに、老朽化に伴うニノ切温水プールの再 整備を行います。	拡充		公園施設再整備箇所数	箇所	(累計)	11	9	↓			A
		担当課		公園・緑地の整備箇所数	箇所	(単年)	0	0	—			今後の留意すべき点・改善点
				公園・緑地の整備面積	m ²	(単年)	0	0	—			全ての施策を実施し、低下している指標もあるが、 適切な整備による変動のため、進捗評価をAとしま す。 利用者のニーズや少子高齢化、健康志向などの社 会背景などを踏まえた公園づくりを推進していくに は、公園の再整備や施設改修などの際に、地域と 話し合いの場を設けていくことが必要です。
	公園みどり 推進課 (整備改良係、 企画調整係、 維持管理係) スポーツ振興課	担 当 課 に よ る 検 証	市民参画型公園整備箇所 数	箇所	(単年)	0	3	↑				
			担当課	令和5年度 の実施内容・評価		施策に対する課題						
			公園みどり推進課 (整備改良係)	兎川公園外4公園において遊具の更新及び上新田2丁 目第3公園外3公園において園路の段差解消、ユニ バーサルデザインタイプの水飲への置き換え等のバ リアフリー化を行いました。 北町1丁目第1公園外2公園において市民参画型公園 の再整備を行いました。		公園の再整備や施設の改修は計画 に沿って進めますが、利用者の安全 を第一に考え、日々の利用状況及 び点検結果を鑑みて改修時期を検 討することも必要です。						

具体 施策	3 1. 開発許可制度及び土地区画整理事業による身近な公園づくり											
施策 内容	施策概要	実施状況	モニ ター 指標	指標	単位	区分	令和4年度	令和5年度	増減	指標に対する 補足・留意事項	公園 みどり 推進課 による 検証	進捗評価
	「開発許可制度」による公園については、その公園づくりのあり方について検討するとともに、同制度や土地区画整理事業による公園づくりについては、事業者などとの協議により、まちなかのオープンスペースや憩いの場となる身近な空間づくりを推進します。 大阪府の「自然環境の保全と回復に関する協定」により設置される公園・緑地については、事業者などとの協議により、まちなかで良好なみどりを感じることができる自然環境と調和した空間づくりを推進します。	拡充		開発行為における公園・広場等の設置協議件数	件	(単年)	0	0	—			C
				自然環境の保全と回復に関する協定件数	件	(累計)	0	0	—			今後の留意すべき点・改善点
		担当課	担当課による 検証	担当課	令和5年度 の実施内容・評価		施策に対する課題		施策の実施は民間事業者の開発によりますが、実績はありませんので、進捗評価をCとします。 開発行為等によるみどりの減少を抑制するため、事業者などに対して、「環境配慮奨励金交付制度」などの活用を積極的に促すなど、働きかけが必要です。			
		公園みどり推進課 (整備改良係、緑化自然環境係、企画調整係)		公園みどり推進課 (整備改良係)	豊中市土地利用の調整に関する条例に基づき、開発行為区域の公園、緑地又は広場の設置(帰属公園)についての協議案件はありませんでした。 平成30年度の条例改正に伴い、協議件数は減少しています。		開発行為によるみどりの減少要因となっています。 緑化の効果を得るため、事業者などに対して、積極的な働きかけが必要です。					
具体 施策	3 2. 地域住民との連携による愛着が持てる公園づくり											
施策 内容	施策概要	実施状況	モニ ター 指標	指標	単位	区分	令和4年度	令和5年度	増減	指標に対する 補足・留意事項	公園 みどり 推進課 による 検証	進捗評価
	地域住民が公園・緑地などの維持管理に参加する「自主管理協定制度的」、地域の自治会や事業者などの団体が行う清掃活動などを支援する「豊中市アダプトシステム」などにより、地域に根ざした良好な公園づくりを推進するとともに、参加団体の広がりをめざして積極的な制度の普及啓発に努めます。 公園・緑地を活用した地域のイベントなどの交流機会の充実を促すことで、活気のある公園づくりを推進します。	継続		自主管理協定制度登録団体数	団体	(累計)	174	169	↓			A
				自主管理協定制度活動箇所数(公園)	箇所	(累計)	195	189	↓			今後の留意すべき点・改善点
				豊中市アダプトシステム協定締結件数	件	(累計)	26	26	—			全ての施策を実施し、低下している指標もあるが、活動の継続がほぼ維持されているため、進捗評価をAとします。 地域住民に愛着を持っていただくために地域と連携した公園づくりやイベントの開催をしていくことが必要です。 「豊中市アダプトシステム」などの参加団体の拡充のため、広い世代への周知が必要です。
		担当課	担当課 検証による	担当課	令和5年度 の実施内容・評価		施策に対する課題					
美化推進課 公園みどり推進課 (維持管理係)	公園みどり推進課 (維持管理係)	自主管理協定制度に基づく登録団体、活動箇所数ともに減少しました。		活動団体の高齢化などによる担い手の減少などの課題について検討が必要です。								

基本施策 9 防災・減災に資するみどりづくり

具体 施策	3 3. 公園・緑地における防災機能の強化											
施策 内容	施策概要	実施状況	モニ ター 指標	指標	単位	区分	令和4年度	令和5年度	増減	指標に対する 補足・留意事項	公園 みどり 推進課 による 検証	進捗評価
	広域避難場所や応援受入拠点、後方支援活動拠点となっている公園・緑地などにおいては、敷地内の安全域を確保するため、沿道のみどりによる延焼遮断帯の形成を推進します。 公園・緑地における防災機能を維持するため、災害発生時の避難場所や復旧活動の拠点などとして利用できるオープンスペースの確保に努めるとともに、耐震性貯水槽(防火水槽)や雨水貯留施設、マンホールトイレなどの防災施設の適正な維持管理を行います。	継続	担当 課 検証 による	公園・緑地の防災施設設置箇所数	箇所	(累計)	175	175	—			A
		担当課		担当課	令和5年度 の実施内容・評価			施策に対する課題				今後の留意すべき点・改善点
		公園みどり推進課 (維持管理係、整備改良係)		公園みどり推進課 (整備改良係)	新たな防災施設の設置はありませんでした。			防災公園の増設、機能の拡充を検討する必要があります。 防災施設を適正に維持管理していくため、計画的な点検及び更新を実施していく必要があります。				施策を実施し、指標も良好なため、進捗評価をAとします。 消防局や危機管理部局及び地域住民と連携を図り、災害時に十分な機能を果たせるよう施設の適正な維持管理を行うことが必要です。

具体 施策	3 4. 庄内・豊南町地区における防災機能の強化											
施策 内容	施策概要	実施状況	モニター 指標	指標	単位	区分	令和4年度	令和5年度	増減	指標に対する 補足・留意事項	公園 みどり 推進課 による 検証	進捗評価
	木造住宅などが密集する地域の「庄内・豊南町地区」における防災対策として、「豊中市庄内・豊南町地区住環境整備計画」に基づき、緑道を整備するとともに、都市計画道路の街路樹の整備を推進します。	継続		街路樹本数(市道)	本	(累計)	18,621	18,477	↓			A
				街路樹本数(府道)	本	(累計)	7,347	7,276	↓			今後の留意すべき点・改善点
		担当課		街路樹本数(国道)	本	(累計)	375	374	↓			
		基盤保全課 基盤整備課		街路樹低木面積(市道)	m ²	(累計)	80,105	80,168	↑			全ての施策を実施し、低下している指標もあるが、適切な管理による変動のため、進捗評価をAとします。 「豊中市庄内・豊南町地区住環境整備計画」に基づき、緑道を整備するとともに、都市計画道路の街路樹の整備を推進する必要があることから、引き続き権利者との調整やバリアフリー化に向けた歩道の幅員確保などについても進めていく必要があります。
				緑道・街路樹整備件数	件	(累計)	2	0	↓			
	担当課 検証 による	担当課	令和5年度 の実施内容・評価				施策に対する課題					
		基盤保全課	街路樹の植替工事及び撤去工事を実施しました。 撤去工事にて撤去した樹木の再植栽可能な箇所については、令和6年度以降に行う予定とし、交通の安全管理上再植栽が難しい箇所については低木の捕植を行いました。				緑道など整備については、権利関係が輻輳している場合が多く、調整に時間を要します。					
		基盤整備課	当該年度は、バリアフリー化を目的とした歩道の幅員拡幅を重点的に行っており、都市計画道路の整備等はありませんでした。				狭隘な歩道に植栽されている街路樹は、バリアフリーや通学路の安全対策の観点から、やむなく撤去しております。					
具体 施策	3 5. 地域防災計画に基づく市街地の緑化											
施策 内容	施策概要	実施状況	モニター 指標	指標	単位	区分	令和4年度	令和5年度	増減	指標に対する 補足・留意事項	公園 みどり 推進課 による 検証	進捗評価
	延焼防止効果の期待できる広幅員の道路について、街路樹や緑道整備などの緑化による防災機能の強化を図ります。 「生垣緑化助成金交付制度」による緑化を推進するなど、建築物の防火に資する緑化を推進するとともに、延焼防止効果の高い樹種や植栽方法の助言など、防災効果を高めるみどりの普及啓発に努めます。	継続		街路樹本数(市道)	本	(累計)	18,621	18,477	↓			A
				街路樹本数(府道)	本	(累計)	7,347	7,276	↓			今後の留意すべき点・改善点
		担当課		街路樹本数(国道)	本	(累計)	375	374	↓			
		基盤保全課 公園みどり 推進課 (維持管理係、 整備改良係、 緑化自然 環境係)		街路樹低木面積(市道)	m ²	(累計)	80,105	80,168	↑			全ての施策を実施し、低下している指標もあるが、適切な管理による変動のため、進捗評価をAとします。 緑化による防災機能の確保と合わせて、幅員確保や倒木の恐れのある街路樹の撤去など、適正なみどりの育成と保全の必要があります。
				緑道・街路樹整備件数	件	(累計)	2	0	↓			
				生垣緑化助成件数	件	(単年)	6	4	↓	令和4年度より、沿道緑化の件数を含む		
				生垣緑化助成本数	本	(単年)	110	9	↓	令和4年度より、沿道緑化の本数を含む		
	担当課 検証 による	担当課	令和5年度 の実施内容・評価				施策に対する課題					
		基盤保全課	街路樹の植替工事及び撤去工事を実施しました。 撤去工事にて撤去した樹木の再植栽可能な箇所については、令和6年度以降に行う予定とし、交通の安全管理上再植栽が難しい箇所については低木の捕植を行いました。				バリアフリーの観点から歩道幅員確保が求められており、また、交差点付近や車両出入口付近など植栽が不適切な箇所があり、植栽整備が難しい場合があります。					

具体 施策	3 6． 公共施設一体型公園づくり											
施策 内容	施策概要	実施状況	モニタ 指標	指標	単位	区分	令和4年度	令和5年度	増減	指標に対する 補足・留意事項	公園 みどり 推進課 による 検証	進捗評価
	「豊中市公共施設等総合管理計画」に基づく公共施設の再配置などが行われる際に、都市公園が隣接する、あるいは都市公園の整備が計画されている場合には、災害時に施設の相互利用が可能な導線の確保や災害時の施設間の連携を図るなど、他の公共施設と一体となった公園づくりを検討します。	新規		公共施設一体型公園整備箇所数	箇所	(累計)	0	0	—			C
		担当課	担当課 検証 による	担当課	令和5年度 の実施内容・評価				施策に対する課題			今後の留意すべき点・改善点
		公園みどり推進課 (整備改良係)		公園みどり推進課 (整備改良係)	市の新たな都市公園の整備や都市公園に隣接する公共施設の整備はありませんでした。				都市公園と都市公園に隣接する公共施設が一体的に活用されるよう基準を検討する必要があります。			施策の実施は公共施設の整備によりますが、実績はありませんので、進捗評価をCとします。 危機管理部局や他の公共施設管理者と連携し、都市公園と都市公園に隣接する公共施設の一体的活用方法について基準を検討する必要があります。

基本施策10 みどりの保全や緑化活動に対する支援

具体 施策	3 7. みどりに関する活動を広げる交流の場の活用											
施策 内 容	施策概要	実施状況	モ ニ タ ー 指 標	指標	単位	区分	令和4年度	令和5年度	増減	指標に対する 補足・留意事項	公 園 み ど り 推 進 課 に よ る 検 証	進捗評価
	みどりに関する活動を行う市民や団体などが自由に参加し、情報交換や仲間づくりなどを行う交流の場である「豊中みどりの交流会」を引き続き活用し、みどりの保全や緑化活動を推進します。	継続	担 当 課 に よ る 検 証	豊中みどりの交流会参加者数	人	(単年)	415	426	↑			A
		担当課		担当課	令和5年度 の実施内容・評価			施策に対する課題				今後の留意すべき点・改善点
		公園みどり推進課 (緑化自然環境係)		公園みどり推進課 (緑化自然環境係)	市民との協働により、花苗やゴーヤ苗を生産し、みどりのフォーラムなどのイベントや公共施設等への配布を行いました。 活動拠点であるふれあい広場SEEDの整備に伴い、同地にてみどりのつどいを開催し、公募した市民により花苗の植付けを行いました。	活動者の高齢化などによる縮小が懸念されることから、活動の見直しや人材発掘、育成が必要です。			施策を実施し、指標も良好なため、進捗評価をAとします。 みどりの保全や緑化活動を推進するためには、みどりの交流会の活動に対する支援や新たな人材発掘などについて検討が必要です。			
具体 施策	3 8. 花とみどりの相談所の活用											
施策 内 容	施策概要	実施状況	モ ニ タ ー 指 標	指標	単位	区分	令和4年度	令和5年度	増減	指標に対する 補足・留意事項	公 園 み ど り 推 進 課 に よ る 検 証	進捗評価
	緑化活動などの拠点である「花とみどりの相談所」において、市民との協働などにより、花とみどりの育成管理などに関する相談への対応や講習会の開催をはじめ、緑化を支援する制度、市民活動や多様な緑化手法などの情報を発信し、緑化に関する普及啓発に努めます。	継続	担 当 課 検 証 に よ る	花とみどりの相談件数	件	(単年)	487	390	↓			B
				花とみどりの講習会参加者数	人	(単年)	830	713	↓			今後の留意すべき点・改善点
		担当課		担当課	令和5年度 の実施内容・評価			施策に対する課題				全ての施策を実施していますが、実績が低下している指標があるため、進捗評価をBとします。 花とみどりの相談所のさらなる活性に向けて、講習会への新たな参加者の掘り起こしや活動の情報発信方法などについて、検討が必要です。
	公園みどり推進課 (花とみどりの相談所)		公園みどり推進課 (花とみどりの相談所)	市民の緑化意識の高揚を図るために、花とみどりに関する相談を行うとともに、植栽知識の普及を目的に、花とみどりの講習会を開催しました。			相談件数は減少傾向にあります。 講習会の参加者はリピーターが多く、より広く参加者を募る必要があります。					

具体 施策	3 9． 緑化リーダーの養成											
施策 内容	施策概要	実施状況	モニター 指標	指標	単位	区分	令和4年度	令和5年度	増減	指標に対する 補足・留意事項	公園 みどり 推進課 による 検証	進捗評価
	参加者のレベルに合わせて複数回にわたる講座を開催する「緑化リーダー養成講座」により、地域での緑化活動の先導役となる緑化リーダーを養成します。 受講者の増加を図るため、市民ニーズを反映した魅力ある内容にするなど、講座内容や過程を見直し、積極的な普及啓発に努めます。	継続		緑化リーダー養成講座受講者数	人	(単年)	32	41	↑			A
		担当課		緑化リーダー養成講座修了者数	人	(単年)	31	36	↑			今後の留意すべき点・改善点
				公園みどり 推進課 (花とみどりの 相談所)	豊中緑化リーダー会会員数	人	(累計)	121	128	↑		
		豊中緑化リーダー会活動面積			m ²	(累計)	145	145	—			全ての施策を実施し、指標も概ね良好なため、進捗評価をAとします。 みどりに関する活動の志や技術を継承していくため、緑化活動の先導者となる緑化リーダーの発掘や育成が必要です。 講座を市民ニーズに合わせた魅力ある内容にするなど、積極的な普及啓発を行っていくことが必要です。
	担当課	令和5年度 の実施内容・評価				施策に対する課題						
公園みどり推進課 (花とみどりの相談所)	地域での緑化活動の推進を進めるため、その指導者となる人材の発掘と育成を目的とした緑化リーダー養成講座を開催しました。				近年、受講者が高齢化していることから、講座内容等の見直しなどの検討が必要です。							
具体 施策	4 0． 生ごみ・剪定枝の堆肥化及び堆肥の活用											
施策 内容	施策概要	実施状況	モニター 指標	指標	単位	区分	令和4年度	令和5年度	増減	指標に対する 補足・留意事項	公園 みどり 推進課 による 検証	進捗評価
	「緑と食品のリサイクルプラザ」において、生ごみや剪定枝のリサイクルを目的として、学校給食から排出される調理くずや食べ残しなどに街路樹などの剪定枝チップを混合し、堆肥「とよっぴー」の製造を行います。 市民との協働により、農家や学校、「花いっぱい運動」に参加する団体などに堆肥「とよっぴー」を配布するとともに、定期的若しくはイベントなどで頒布することにより緑化を推進します。	継続		とよっぴー配布・頒布量	トン	(単年)	95	85	↓			A
		担当課		緑化用パーク配布量	トン	(単年)	31	30	↓			今後の留意すべき点・改善点
	担当課 検証 による		担当課	令和5年度 の実施内容・評価				施策に対する課題				
		公園みどり 推進課 (緑化自然 環境係)	公園みどり推進課 (緑化自然環境係)	市民との協働により堆肥「とよっぴー」の配布・頒布や公共施設等への「緑化用パーク」の配布を行いました。				堆肥「とよっぴー」により緑化を推進する一方、その原材料が給食残渣等であることから、食品ロスや資源循環など多面的な視点で施策の評価を考える必要があります。				
具体 施策	4 1． 緑化樹木見本園及び記念樹の森の活用											
施策 内容	施策概要	実施状況	モニター 指標	指標	単位	区分	令和4年度	令和5年度	増減	指標に対する 補足・留意事項	公園 みどり 推進課 による 検証	進捗評価
	樹木緑化の参考となる施設として整備した緑化樹木見本園、出生などの記念として配付した記念樹を植栽して整備した記念樹の森について、緑化の啓発やみどりに親しむ場として有効に活用するため、適正な維持管理を行うとともに、施設の情報を広く発信します。	継続		緑化樹木見本園樹木種類数	種	(累計)	64	64	—			A
		担当課		記念樹の森樹木本数	本	(累計)	200	200	—			今後の留意すべき点・改善点
	担当課 検証 による		担当課	令和5年度 の実施内容・評価				施策に対する課題				
		公園みどり 推進課 (維持管理係、 整備改良係、 緑化自然 環境係)	公園みどり推進課 (維持管理係)	緑化樹木見本園及び記念樹の森について、樹木の剪定などの維持管理を行いました。				現在、施設の情報発信を行っていますが、更なる周知の取組が必要です。				

具体 施策	4 2. みどりに関する活動発表の場や表彰制度の活用											
施策 内容	施策概要	実施状況	モニ ター 指標	指標	単位	区分	令和4年度	令和5年度	増減	指標に対する 補足・留意事項	公園 みどり 推進課 による 検証	進捗評価
	市民参加や市民との協働による取組みの活性化を図り、活動の認知度を高めるため、みどりのフォーラムやみどりのつどい、花いっぱい運動写真展などの活動発表の場、豊中市都市デザイン賞やとよなかエコ市民賞、大阪ランドスケープ賞などの表彰制度を有効に活用します。 市民の活動発表の場や表彰制度への積極的な参加を促すため、活動発表の場や表彰制度の広報、活動発表や表彰された活動の内容の情報発信などの普及啓発に努めます。	継続		各種表彰制度の受賞件数	件	(単年)	14	5	↓			B
				花いっぱい運動写真展応募数	点	(単年)	55	55	—	R2年度終了。R3年度からは、「花とみどりの名所マップづくり写真展」を実施し、出展数を記載		今後の留意すべき点・改善点
		担当課	担当課による 検証	担当課	令和5年度 の実施内容・評価			施策に対する課題 <td rowspan="2">全ての施策を実施しているが、指標が低下しているため、進捗評価をBとします。 都市デザイン賞・まちなみ市民賞が5年に1回実施のため、受賞件数が前年度から大きく減少しました。みどりに関する活動の認知度を高めるため、今後も様々な場や制度を活用し、積極的に活動内容の情報発信を行うことが必要です。</td>				全ての施策を実施しているが、指標が低下しているため、進捗評価をBとします。 都市デザイン賞・まちなみ市民賞が5年に1回実施のため、受賞件数が前年度から大きく減少しました。みどりに関する活動の認知度を高めるため、今後も様々な場や制度を活用し、積極的に活動内容の情報発信を行うことが必要です。
		都市計画課 公園みどり推進課 (緑化自然環境係)		公園みどり推進課 (緑化自然環境係)	市民との協働による、市内の花とみどりの魅力を伝えるため、「花とみどりの名所マップづくり」に取り組み、写真やコメントなどをパネルに加工してイベントで展示しました。			活動を推進し、より多くの方々に応募いただくために、継続した情報発信や普及啓発への取組が必要です。				

基本施策11 みどりの普及啓発

具体 施策	4 3. みどりに関するイベントの開催											
施策 内容	施策概要	実施状況	モニ ター 指標	指標	単位	区分	令和4年度	令和5年度	増減	指標に対する 補足・留意事項	公園 みどり 推進課 による 検証	進捗評価
	花とみどりの講習会やみどりのフォーラム、自然環境啓発イベントなど、市民ニーズを反映した魅力ある様々な内容のイベントを開催します。また、イベント開催時には、みどりの保全や緑化に関する支援制度、多様な緑化手法などの普及啓発に努めるとともに、市民活動などの情報提供により、みどりに関する活動を支える人材の発掘や育成を推進します。	継続		みどりに関するイベント参加者数	人	(累計)	50,082	64,644	↑	平成30年度からの累計値		A
		担当課		公民館等の自然環境関連イベント件数	件	(単年)	12	14	↑			今後の留意すべき点・改善点
		公園みどり推進課 (緑化自然環境係、花とみどりの相談所、企画調整係)		農業祭参加者数	人	(単年)	3,000	3,876	↑			全ての施策を実施し、指標も良好なため、進捗評価をAとします。 みどりに関するイベントを開催し、参加者数の増加を図るとともに、幅広い世代が参加しやすいイベントとなるよう、内容を工夫していく必要があります。
				NPO法人などの環境保全活動団体数	団体	(単年)	16	17	↑			
			担当課	令和5年度 の実施内容・評価			施策に対する課題					
		公園みどり推進課 (緑化自然環境係)	みどりのフォーラムや豊中みどりの交流会展など、様々なみどりに関するイベントを実施しました。イベントについては概ねコロナ渦前の規模で開催できました。			感染症の拡大や天候などによってイベントの開催が左右されるため、中止になれば、モニター指標の数値が大きく減少する。						

具体 施策	4 4． みどりに関する情報発信											
施策 内容	施策概要	実施状況	モニ ター 指標	指標	単位	区分	令和4年度	令和5年度	増減	指標に対する 補足・留意事項	公園 みどり 推進課 による 検証	進捗評価
	広報とよなかやホームページをはじめ、マスメディアやスマートフォンなどのインターネットなどを活用し、みどりに関するイベントや制度、みどりに関する活動などの情報を広く発信します。また、市民との協働により発行している「みどりだより」や「相談所ニュース」などの情報誌を活用して、多様な緑化手法などの普及啓発に努めるとともに、市民活動などの情報提供により、みどりに関する活動を支える人材の発掘や育成を推進します。	継続		情報誌の発行件数	件	(単年)	30	28	↓			A
		担当課		ホームページによる情報 発信件数	件	(単年)	53	42	↓			今後の留意すべき点・改善点
				NPO法人などの環境保全 活動団体数	団体	(単年)	16	17	↑			
	公園みどり 推進課 (緑化自然 環境係、 花とみどりの 相談所、 維持管理係、 企画調整係、 整備改良係)	担当 課による 検証	担当課	令和5年度 の実施内容・評価				施策に対する課題				
			公園みどり推進課 (緑化自然環境係)	広報とよなかやホームページなどを通じて、みどりに関するイベントや活動の情報発信を行いました。				幅広い世代に情報発信するために、SNSなどを活用したみどりに関する広報を強化していく必要があります。				
具体 施策	4 5． 自然体験及び野外活動の場の活用											
施策 内容	施策概要	実施状況	モニ ター 指標	指標	単位	区分	令和4年度	令和5年度	増減	指標に対する 補足・留意事項	公園 みどり 推進課 による 検証	進捗評価
	野外炊さん場や竹林などがある千里中央公園、能勢町の広大な自然を有する「豊中市立青少年自然の家わっぱる」などを活用し、心の豊かさを育む自然体験や野外活動を推進するとともに、利用者のニーズに合わせた広報を行うなどの適切な普及啓発に努めます。	継続		千里中央公園野外炊さん 場利用者数	人	(単年)	1,807	1,336	↓			A
		担当課		千里中央公園野外炊さん 場利用団体数	団体	(単年)	53	40	↓			今後の留意すべき点・改善点
				豊中市立青少年自然の家 わっぱる利用者数	人	(単年)	9,322	13,433	↑			
	公園みどり 推進課 (維持管理係) 社会教育課	担当 課による 検証	担当課	令和5年度 の実施内容・評価				施策に対する課題				
			公園みどり推進課 (維持管理係)	新型コロナウイルスに対する国・府の方針変更により、利用者数が例年並みになりました。				自然体験や野外活動推進のため、さらにイベントを実施する必要があります。				
具体 施策	4 6． 緑化事業基金の活用											
施策 内容	施策概要	実施状況	モニ ター 指標	指標	単位	区分	令和4年度	令和5年度	増減	指標に対する 補足・留意事項	公園 みどり 推進課 による 検証	進捗評価
	みどりに関するイベントや取り組みなどを通じて緑化事業基金の意義や目的を発信し、集まった基金については、みどりの保全や緑化活動、みどりの解説サインの設置など、みどりに対する理解や関心を深めるための事業に有効に活用します。	拡充		緑化事業基金に対する寄 附件数	件	(単年)	300	412	↑			A
		担当課		緑化事業基金活用額	円	(累計)	60,000	5,070,000	↑			今後の留意すべき点・改善点
				担当課	令和5年度 の実施内容・評価				施策に対する課題			
	公園みどり 推進課 (企画調整係、 緑化自然 環境係、 花とみどりの 相談所、 維持管理係、 整備改良係)	担当 課による 検証	公園みどり推進課 (企画調整係、 緑化自然環境係、 花とみどりの相談所、 維持管理係、 整備改良係)	公園みどり推進課 (企画調整係) (緑化自然環境係)	地域等における緑化の推進に関する活動に対し、必要な支援を行うため、緑化樹木や緑化資材などの調達に活用しました。また、寄付を活用し、市民との花苗活動の拠点となる、ふれあい緑地SEEDの整備を行いました。また、令和4年度から新たな寄附の方法として「とよなか公園魅力アップツリー」を導入しました。				これまで集まった基金の内、運用益(利子)の範囲で緑化資材の購入などに活用してきましたが、今後はさらに緑化の推進に効果的な情報発信をするなど、基金の確保と合わせて、計画的かつ効果的な運用の検討が必要です。			

＜重点的な施策＞

計画の目標値に大きく関係する指標がある施策(イベントの参加者数)などは別途、判断

施策内容	施策概要	実施状況	モニター指標	指標	単位	区分	令和4年度	令和5年度	増減	指標に対する補足・留意事項	公園みどり推進課による検証	進捗評価
	旧猪名川のとまりのある草地、天竺川や高川の堤内地側の法面の樹林地や草地などを保全するとともに、神崎川の緑道や緑地帯では、景観や利活用に配慮した適正な維持管理を行います。 中央幹線景観水路や豊能南部親水水路の樹木などの適正な維持管理を行います。	継続		親水水路樹木本数(南部)	本	(累計)	278	278	—			B
		担当課		親水水路低木面積(南部)	m ²	(累計)	3,394	3,394	—			今後の留意すべき点・改善点
				河川流域面積(南部)	ha	(累計)	54	54	—			全ての施策を実施しているが、昨年度から実績が改善されていないため、進捗評価をBとします。 緑化重点地域のみどりの満足向上に向けて、多様な取組みが求められているみどりの軸において、地域住民と協働したみどりの保全を推進していくため、大阪府アドプト・リバープログラムなどの制度を積極的に広報していく必要があります。
				大阪府 公園みどり推進課 (維持管理係) 基盤保全課	大阪府アドプト・リバープログラム協定締結件数(南部)	件	(単年)	2	2	—		
		担当課	令和5年度の実施内容・評価			施策に対する課題						
	基盤保全課	基盤保全課	水路施設において、植樹帯の清掃や植栽管理などの維持管理を行いました。			良好な景観を維持していくために、継続した植栽管理が必要です。						

項目	公園・緑地											
施策内容	施策概要	実施状況	モニター指標	指標	単位	区分	令和4年度	令和5年度	増減	指標に対する補足・留意事項	公園みどり推進課による検証	進捗評価
	公園・緑地の樹木などの適正な維持管理を行います。 「自主管理協定制度」などにより、地域住民による花壇管理などの緑化活動を推進するとともに、制度の普及啓発に努めます。 延焼防止効果を高めるため、沿道のみどりの保全や育成を推進するとともに、防災施設の適正な維持管理を行います。	継続		公園・緑地の開設箇所数(南部)	箇所	(累計)	99	99	—			A
		担当課		公園・緑地の開設面積(南部)	m ²	(累計)	151,333	151,333	—			今後の留意すべき点・改善点
				自主管理協定制度登録団体数(南部)	団体	(累計)	51	49	↓			全ての施策を実施し、低下している指標もあるが、ほぼ活動の継続が維持されているため、進捗評価をAとします。 「自主管理協定制度」などにより、地域住民による花壇管理などの緑化活動を推進するとともに、制度の普及啓発が必要です。 延焼防止効果を高めるため、沿道のみどりの保全や育成の推進、防災施設の適正な維持管理を行うことも必要です。
				自主管理協定制度活動箇所数(公園)(南部)	箇所	(累計)	43	41	↓			
				豊中市アダプトシステム協定締結件数(南部)	件	(累計)	2	2	—			
			公園・緑地の防災施設設置箇所数(南部)	箇所	(累計)	30	30	—				
	公園みどり推進課(維持管理係) 美化推進課	担当課	令和5年度の実施内容・評価				施策に対する課題					
		公園みどり推進課(維持管理係)	緑化重点地区における公園・緑地について、樹木の剪定や除草等の維持管理を行いました。 沿道のみどりの保全や育成を推進するとともに、防災施設の適正な維持管理を行います。				「自主管理協定制度」などにより、地域住民による花壇活動などの緑化活動を推進するとともに、高齢化により活動継続が難しくなっていることから制度の普及啓発に努める必要があります。					
項目	街路樹・緑道											
施策内容	施策概要	実施状況	モニター指標	指標	単位	区分	令和4年度	令和5年度	増減	指標に対する補足・留意事項	公園みどり推進課による検証	進捗評価
	「第3次庄内地域住環境整備計画」に基づき、通り池水路などの緑道の整備を推進します。 都市計画道路の三国塚口線や穂積菰江線などの街路樹の整備を推進します。 神崎刀根山線や穂積菰江線などの街路樹や緑道の樹木などの適正な維持管理を行うとともに、老木化した樹木の更新を行います。 花壇やフラワーポットなどにより、沿道の草花緑化を推進します。 延焼防止効果を高めるため、沿道のみどりの保全や育成を推進します。	拡充		街路樹本数(市道)(南部)	本	(累計)	6,568	6,552	↓			A
		担当課		街路樹本数(府道)(南部)	本	(累計)	22	22	—			今後の留意すべき点・改善点
				街路樹本数(国道)(南部)	本	(累計)	173	173	—			全ての施策を実施し、低下している指標もあるが、適切な管理による変動のため、進捗評価をAとします。 緑道の整備を推進していくとともに、街路樹などの樹木について、不適切な剪定や植栽が発生しないよう、計画的に維持管理を行っていく必要があります。
				街路樹低木面積(市道)(南部)	m ²	(累計)	34,099	34,118	↑			
				緑道・街路樹整備件数(南部)	m ²	(累計)	2	0	↓			
			公園みどり推進課(維持管理係、整備改良係、緑化自然環境係) 都市整備課 基盤保全課 基盤整備課	担当課	令和5年度の実施内容・評価				施策に対する課題			
	基盤整備課	当該年度は、バリアフリー化を目的とした歩道の幅員拡幅を重点的に行っており、都市計画道路の整備等はありませんでした。				狭隘な歩道に植栽されている街路樹は、バリアフリーや通学路の安全対策の観点から、やむなく撤去しております。						
	基盤保全課	街路樹について剪定などの日常管理や植替工事及び撤去工事を実施しました。 撤去工事にて撤去した樹木の再植栽可能な箇所については、令和6年度以降に行う予定とし、交通の安全管理上再植栽が難しい箇所については低木の捕植を行いました。				街路樹や緑道の樹木の保全、育成をしていくためにも、不適切な剪定や植栽などが発生しないよう維持管理を行っていく必要があります。						

項目	学校												
施策内容	施策概要	実施状況	モニター指標	指標	単位	区分	令和4年度	令和5年度	増減	指標に対する補足・留意事項	公園みどり推進課による検証	進捗評価	
	敷地内や沿道のみどりの保全や緑化の推進、校舎の壁面を利用した緑化を推進し、目にするみどりの量の増加を図るとともに、学校の再配置が行われる場合には、みどりの確保に努めます。	拡充		小・中学校及びこども園ビオトープ設置件数(南部)	件	(単年)	2	2	—	5年毎の調査(次回、令和7年度実施)		B	
		教育委員会事務局 こども事業課		小・中学校及びこども園ビオトープ設置面積(南部)	m ²	(単年)	77	77	—			今後の留意すべき点・改善点	
				担当課	公立小学校農園実施校数(南部)	校	(単年)	8	6	↓			
				公立小学校みどりのカーテン実施箇所数(南部)	箇所	(単年)	4	4	—				
				公立小・中学校・こども園芝生化件数(南部)	件	(単年)	2	1	↓	学校再編による減			
				公立小・中学校・こども園芝生化面積(南部)	m ²	(単年)	2,000	1,000	↓	学校再編による減			
	公園みどり推進課 (緑化自然環境係)	担当課	令和5年度の実施内容・評価				施策に対する課題						
		公園みどり推進課 (緑化自然環境係)	公立小学校やこども園等にゴーヤの苗を配布し、みどりのカーテンづくりを行いました。				引き続き、公立小学校を中心としたみどりのカーテンづくりの支援を実施する必要があります。一方で学校再編による統廃合に伴い、芝生化面積などが減少傾向にあります。						
項目	駅前												
施策内容	施策概要	実施状況	モニター指標	指標	単位	区分	令和4年度	令和5年度	増減	指標に対する補足・留意事項	公園みどり推進課による検証	進捗評価	
	市民参加や市民との協働によるプランターなどを活用した草花緑化により、魅力的な駅前づくりを推進するとともに、駅前の再開発が行われる場合には、みどりの確保に努めます。	拡充		まちづくり団体の取組み箇所数(南部)	箇所	(累計)	0	0	—			B	
		担当課		まちづくり団体のみどりの活動プロジェクト件数(南部)	件	(累計)	0	0	—			今後の留意すべき点・改善点	
				花壇設置面積(南部)	m ²	(累計)	399	399	—				
				フラワーポット設置数(南部)	箇所	(累計)	314	53	↓	業務見直しに伴うフラワーポットの移設・廃止による減			
	公園みどり推進課 (緑化自然環境係) 都市整備課	担当課	令和5年度の実施内容・評価				施策に対する課題						
		公園みどり推進課 (緑化自然環境係)	道路沿いなどのフラワーポットの適正な設置場所について検討し、再配置を行うとともに、市民との協働による花苗の育苗、地域花壇の管理活動により、景観形成の向上に努めました。				駅周辺の緑化を推進するため、スペースの確保など、関係部局と連携した対策が必要です。						

項目	住宅地・商業地・工業地など												
施策内容	施策概要		実施状況	モニター指標	指標	単位	区分	令和4年度	令和5年度	増減	指標に対する補足・留意事項	公園みどり推進課による検証	進捗評価
	税制優遇などを活用して、300m2以上の敷地において、20%以上の緑化施設が整備された住民の利用に供する市民緑地を設置し、これを管理する者が作成する計画を認定する「市民緑地認定制度」の適用を推進します。 「生垣緑化助成金交付制度」の制度の拡充や地区の特性に応じた助成の基準を検討し、沿道緑化を推進するとともに、制度の普及啓発に努めます。 「環境配慮奨励金交付制度」などにより、準工業又は工業地域における事業所の新設や増設、建替えなどの際の積極的な緑化を推進します。 沿道緑化の手法や鉢植えで育てる植物などに関する情報の発信、出前による花とみどりの講習会、みどりに関するイベントの積極的な開催などにより、みどりの保全や緑化を推進します。 自治会やマンションの管理組合などに対して、緑化用樹木を配付する「緑化樹等配付制度」により緑化を推進するとともに、制度の普及啓発に努めます。 宅地化などの開発行為に伴う「豊中市環境配慮指針」に基づく緑化協議により、緑化を推進します。 「(仮称)南部コラボセンター」の建設の際には、可能な範囲で花壇などの植栽空間を確保し、その空間の緑化を推進します。 延焼防止効果の高い樹種や植栽方法の助言など、防災効果を高めるみどりの普及啓発に努めます。		拡充		市民緑地認定件数(南部)	件	(単年)	0	0	―			A
			担当課		生垣緑化助成件数(南部)	件	(単年)	0	1	↑	令和4年度より、沿道緑化の件数を含む		今後の留意すべき点・改善点
			公園みどり推進課 (緑化自然環境係、 花とみどりの相談所)		生垣緑化助成本数(南部)	本	(単年)	0	1	↑	令和4年度より、沿道緑化の本数を含む		全ての施策を実施し、低下している指標もあるが、適切な制度運営による変動のため、進捗評価をAとします。
					生垣緑化助成延長(南部)	m	(単年)	0	0	―			
					環境配慮奨励金交付件数(南部)	件	(累計)	4	4	―			
					みどりに関するイベント参加者数(南部)	人	(累計)	140	40	↓			
					緑化樹配付件数(南部)	件	(単年)	1	2	↑			
					緑化樹配付本数(南部)	本	(単年)	120	486	↑			
					環境配慮協議件数(南部)	件	(単年)	9	7	↓			
	環境配慮協議緑化面積(南部)	㎡	(単年)	3,517	2,779	↓		緑化重点地区の住宅地・商業地・工業地において緑化を推進するためには、「緑化樹等配付制度」等の制度について十分な理解を得られるよう、積極的に制度の趣旨等を情報発信していく必要があります。					
	担当課		令和5年度 の実施内容・評価				施策に対する課題			緑化重点地区へのみどりの保全や緑化に関する支援制度の活用を推進するため、積極的な普及啓発が必要です。			
	公園みどり推進課 (緑化自然環境係)		「3軒からのご近所緑化支援制度」及び「生垣緑化・沿道緑化助成金交付制度」による助成を行いました。 「3軒からのご近所緑化支援制度」については、1グループ(5軒)への助成を行いました。										
項目	みどりの風促進区域												
施策内容	施策概要		実施状況	モニター指標Ⅰ	指標	単位	区分	令和4年度	令和5年度	増減	指標に対する補足・留意事項	公園みどり推進課による検証	進捗評価
	大阪府との連携により、「みどりの風促進区域」の情報を発信し、区域内の緑化を推進します。		継続		みどりの風の道形成事業補助件数(南部)	件	(累計)	0	0	―			C
			担当課	担当課	令和5年度 の実施内容・評価				施策に対する課題				今後の留意すべき点・改善点
			大阪府 環境指導課 公園みどり推進課 (緑化自然環境係)	公園みどり推進課 (緑化自然環境係)	南部地域における、みどりの風の道形成事業補助は、ありませんでした。				促進区域における民有地の緑化整備を促進するため、民間事業者が行う開発行為・建築行為に対する環境配慮協議を行う際、大阪府への情報提供や事業者への働きかけが必要です。				施策の実施は民間事業者の整備によりますが、実績はありませんので、進捗評価をCとします。
												「みどりの風促進区域」に指定されている国道176号の沿線において緑化を推進するため、開発行為等や建築行為に対する環境配慮協議を行う際、大阪府への情報提供や事業者への働きかけが必要です。	